

海の子育成に係る実態等調査 報 告 書

平成23年3月

財団法人 九州運輸振興センター

目 次

| | |
|--|----|
| I. 調査の背景と目的 | 1 |
| II. 小中学校へのアンケート調査結果 | 3 |
| 1. 調査の概要 | 3 |
| (1) 調査期間 | 3 |
| (2) 調査設計 | 3 |
| (3) 調査内容 | 3 |
| (4) 配布・回収結果 | 3 |
| (5) 結果の見方 | 3 |
| 2. 回答校の属性 | 4 |
| (1) 小・中学校 | 4 |
| (2) 県別の分布状況 | 4 |
| 3. 見学会・体験学習の実施状況・ニーズについて | 5 |
| (1) 見学会・体験学習の実施状況 | 5 |
| (2) 見学会等の実施時期 | 6 |
| (3) 見学実施計画の立案時期 | 9 |
| (4) 見学会等の時間帯 | 11 |
| (5) 学校から見学先への移動手段 | 12 |
| (6) 見学先を選ぶ際に参考とする情報源 | 13 |
| (7) 学校から見学先までの移動時間の許容範囲 | 15 |
| (8) 見学会・体験学習を実施する上での課題 | 16 |
| 4. 海事産業に関する意識・関心について | 17 |
| (1) 海事産業の重要性の認識 | 17 |
| (2) 社会科等の教育の場で海事産業について取り上げる機会 | 18 |
| 5. 海事産業に関する見学会・体験学習について | 21 |
| (1) 海事産業に関する見学会・体験学習を実施することへの関心 | 21 |
| (2) 参加してみたいと思う海事産業に関する見学会・体験学習 | 23 |
| (3) 協議会が費用や見学メニュー等を提供した場合の海事産業関連の見学会・体験学習の実施意向 | 24 |
| (4) 先生方への出前講座の必要性 | 26 |
| 6. 自由回答 | 29 |

| | |
|---------------------------------|-----------|
| III. 調査結果の総括 | 33 |
| 1. アンケート調査結果のまとめ..... | 33 |
| (1) 見学会・体験学習の実施状況・ニーズについて | 33 |
| (2) 海事産業に関する見学会・体験学習について | 35 |
| 2. 海事産業に関する見学会・体験学習の推進に向けて..... | 37 |
| (参考資料) | |
| アンケート調査 調査票..... | 参 1 |

1. 調査の背景と目的

1. 調査の背景と目的

九州地区では平成20年2月、地域の海事関係者や海事教育機関等が相互に連携しながら、海の大切さ・海事産業の果たす役割について、小中学生を中心とした青少年に感動とロマンを与えられるような広報活動を推進するため、「九州海事産業次世代人材育成推進協議会」（以下、協議会という。）を設置した。同協議会では活動の柱の一つとして、次世代の海事産業の人材確保・人材育成を目的として児童・青少年を対象に見学会や体験学習を実施しており、事務局である九州運輸局が中心となって教育委員会や学校等の教育機関へのイベントセールスを行っている。

こうした見学会や体験学習の受け入れ先として、海事関係団体では海の職場体験や造船所の進水式見学、港湾施設見学等、様々なメニューを用意しており、昨年度の見学会や体験学習の実績は約210件で13,000人（帆船の一般見学者を除く）が参加している。しかし、九州管内の小・中学校でみた場合、参加率は5%にとどまっており、先生の多くが海事にある程度関心はあるものの、見学会場等までの交通手段が不便なこと、あるいは交通費の負担が大きいことなどから、実施できていないことが想定される。また、その理由も含め、小中学校等における見学会等の実施状況や見学会等に対するニーズなどについての基礎資料が少ないため、協議会の活動が効率的に実施されていない面があると考えられる。

こうしたことから、本調査では小中学校の先生を対象としてアンケート調査を通じて見学会等の実施ニーズや見学会等を実施する上での課題を明らかにするとともに、先生の海事に関する関心度や出前講座等の必要性等を把握し、今後、協議会の活動をより効率的・効果的に実施するために必要な基礎資料を入手することを目的としている。また、アンケート調査で把握した先生のニーズやこれまでの見学会の実施成果等を踏まえ、見学会等のモデルコースについても提案を行うこととする。

11. 小中学校へのアンケート調査結果

II. 小中学校へのアンケート調査結果

1. 調査の概要

(1) 調査期間

- 平成 22 年 7 月 12 日～7 月 31 日

(2) 調査設計

- ①調査地域：九州 7 県及び山口県
- ②調査対象：小・中学校
- ③対象校数：小学校 254 校、中学校 251 校、合計 505 校
- ④抽出方法：九州運輸局本局及び各支局において対象校を選定
- ⑤調査方法：郵送配布、留置、郵送回収

(3) 調査内容

- ①社会科等における見学会・体験学習の実施状況・ニーズ等
- ②海事産業に関する意識・関心等
- ③海事産業に関する見学会・体験学習等
- ④回答者属性

(4) 配布・回収結果

- ①アンケート票配布数 505 サンプル

表 11-1 本局及び各支局におけるアンケート配布数

| | 本局 | 福岡(門司) | 若松 | 佐賀(唐津) | 長崎 | 佐世保 | 熊本(三角) | 大分 | 宮崎 | 鹿児島 | 下関 | 合計 |
|-----|----|--------|----|--------|----|-----|--------|----|----|-----|----|-----|
| 小学校 | 39 | 20 | 20 | 25 | 20 | 20 | 20 | 25 | 20 | 25 | 20 | 254 |
| 中学校 | 30 | 20 | 20 | 39 | 20 | 20 | 16 | 21 | 20 | 25 | 20 | 251 |
| 合計 | 69 | 40 | 40 | 64 | 40 | 40 | 36 | 46 | 40 | 50 | 40 | 505 |

- ②有効回収数 276 サンプル
- ③回収率 54.7%

(5) 結果の見方

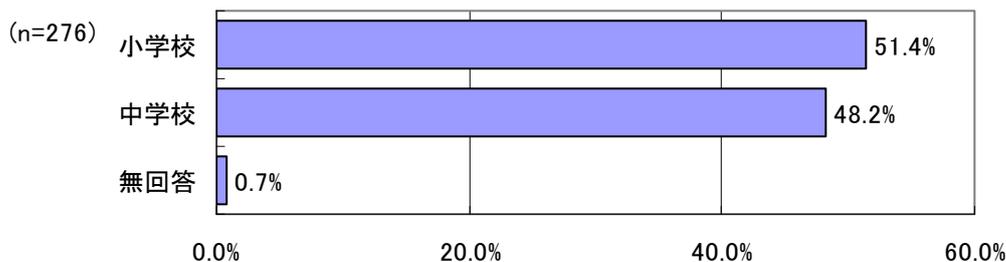
- ・全ての集計表は、小数点第 2 位を四捨五入した。
- ・回答の比率 (%) は、その設問の回答数を基礎 (n) として算出した。したがって、複数回答設問では、全ての比率の合計が 100%にならないことがある。
- ・各グラフのタイトルに、単数回答 (SA) もしくは複数回答 (MA) の区別を表示している。

2. 回答校の属性

(1) 小・中学校

回答校について、小学校と中学校の属性（複数回答）をみると、小学校が51.4%、中学校が48.2%で、小学校がやや多くなっている。

図 11-1 回答校の属性（MA）



注) 小学校と中学校が統合されている学校は、小学校、中学校のそれぞれに計上している。

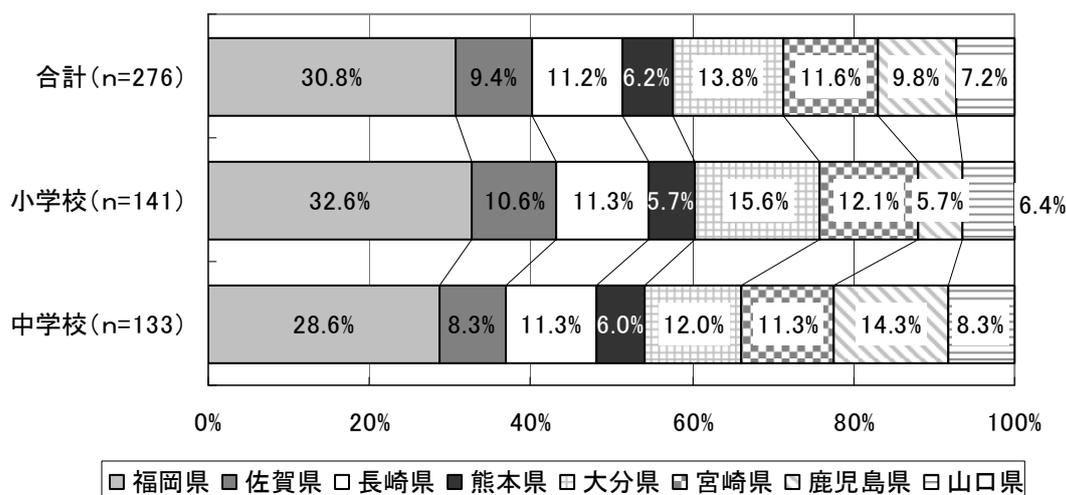
注) MA：複数回答。以下同じ。

(2) 県別の分布状況

回答校の県別の分布状況をみると、全体では福岡県（30.8%）が約3割を占め、次いで、大分県（13.8%）、宮崎県（11.6%）、長崎県（11.2%）の順となっている。

小中学校別にみると、小学校では福岡県（32.6%）、大分県（15.6%）などが全体に比べてやや多くなっている。また、中学校では、鹿児島県（14.3%）、山口県（8.3%）が全体に比べてやや多くなっている。

図 11-2 県別の分布状況（SA）



注) アンケート調査では地域に関する設問は設けていないが、九州運輸局の所管範囲（本局及び各支局）より県を特定した。

注) SA：単数回答。以下同じ。

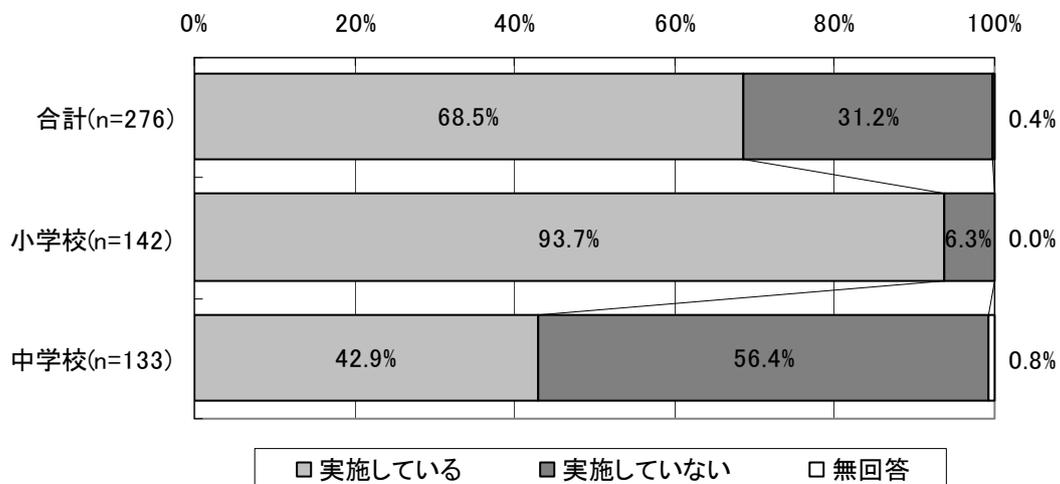
3. 見学会・体験学習の実施状況・ニーズについて

(1) 見学会・体験学習の実施状況

社会科等における見学会・体験学習等の実施状況をみると、全体では68.5%と7割弱の学校が実施している。

これを小中学校別にみると、小学校では93.7%とほとんどの学校が実施しているのに対して、中学校で実施している学校は42.9%と4割強にとどまっており、実施していない学校が半数以上を占めている。

図 11-3 社会科等の教育の場で見学会・体験学習等の実施状況（S A）



注) 合計には、小・中学校の区別について無回答の2校を含む。また、小学校と中学校が統合された学校（小中学校）が1校存在するため、小学校と中学校及び区分について無回答の学校を合わせた数は、合計と一致しない。

(2) 見学会等の実施時期

見学会等を実施している学校についてその実施時期（複数回答）をみると、全体では2学期が58.7%で最も多く、次いで1学期が51.9%である。

小中学校別にみると、小学校では2学期が66.2%で最も多く、次いで1学期が51.1%となっている。また、中学校では1学期が54.4%で最も多く、次いで2学期が42.1%となっている。

なお、毎年の実施時期が決まっておらず、「年度により異なる・不定」との回答は、小学校・中学校とも1割前後である。また、「その他」の自由記述では、一年を通して実施（7件）、夏季休業中（3件）などがあげられている。

図 11-4 見学会等の実施時期（MA）

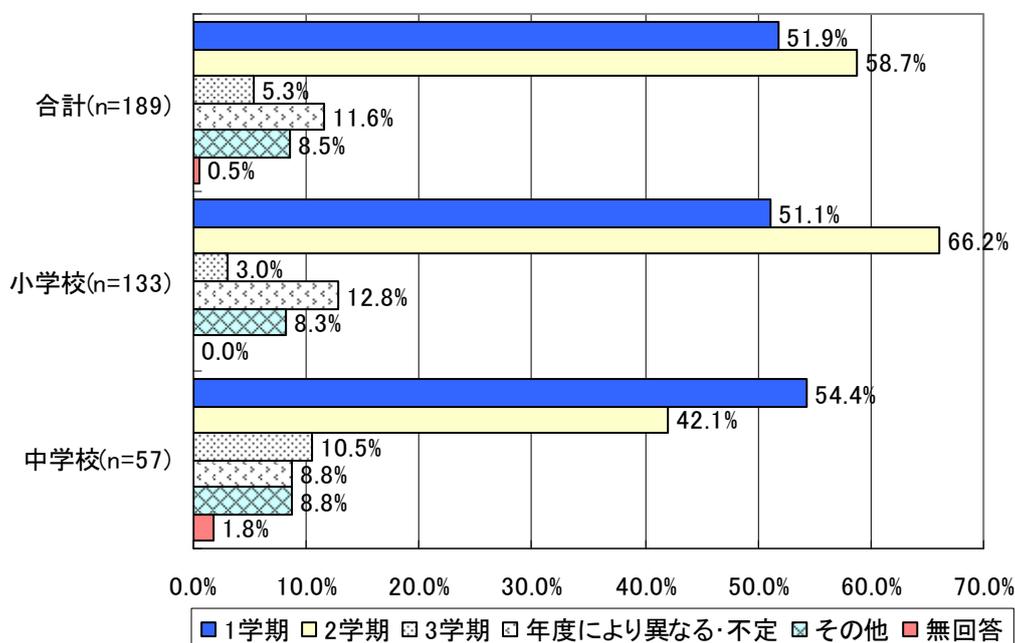


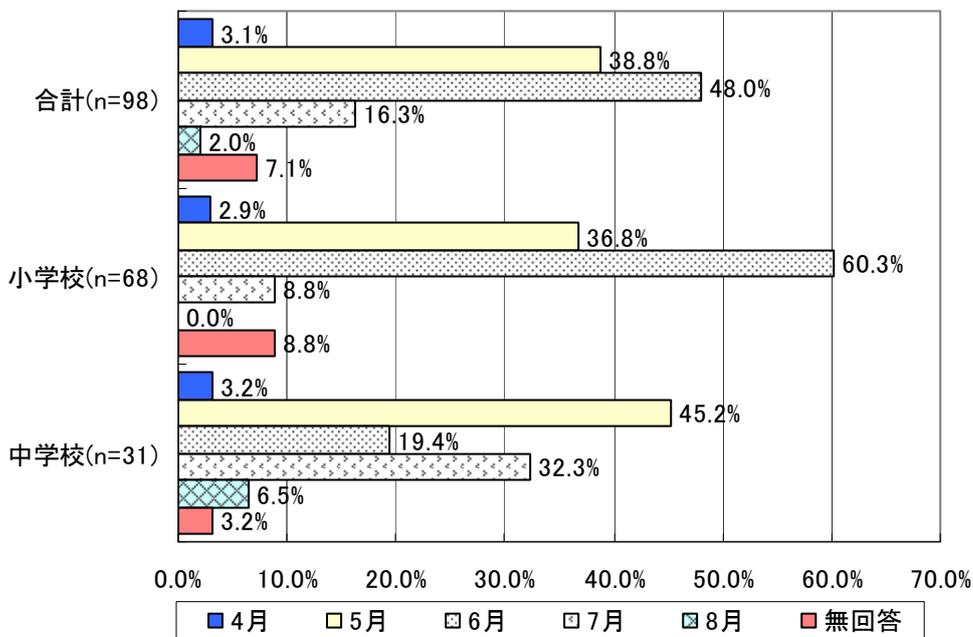
表 11-2 「その他」の自由記述

| |
|--|
| <p>■ 通年(7件)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年毎に実施するので、ほぼ1年間を通して。 年間を通じて、教科の学習内容に合わせて、適宜実施している。 社会見学旅行は5～6月、その他通常授業における見学は学年にもよるが、ほぼ通年。 |
| <p>■ 夏季休業中(3件)</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏季休業中に水産体験教室・職場体験学習を実施。 |
| <p>■ 9月(2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年に1度9月頃。 |
| <p>■ その他(3件)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年毎に単元と見学先の都合を考えて決定。 社会科でそこを学習する時。 体験学習は学年により不足です。見学会は実施していません。 |

見学会等を1学期に実施している学校について、具体的な時期を聞いたところ（複数回答）、全体では6月が48.0%で最も多く、次いで5月が38.8%となっている。

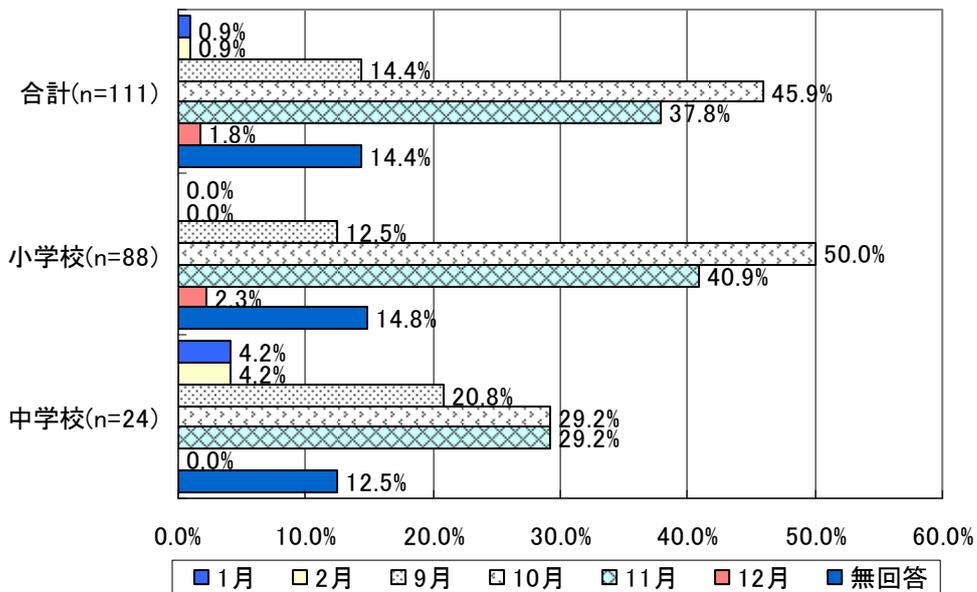
小中学校別にみると、小学校では6月が60.3%で最も多く、次いで5月が36.8%である。一方、中学校では5月が45.2%で最も多く、次いで7月が32.3%となっている。

図 11-5 見学会等の具体的な実施時期【1学期】(MA)



次に、見学会等を2学期に実施している学校の具体的な時期をみると（複数回答）、全体では10月が45.9%で最も多く、次いで11月が37.8%となっている。小中学校別にみると、小学校では10月が50.0%で最も多く、次いで11月が40.9%である。また、中学校では10月と11月が29.2%ずつとなっている。

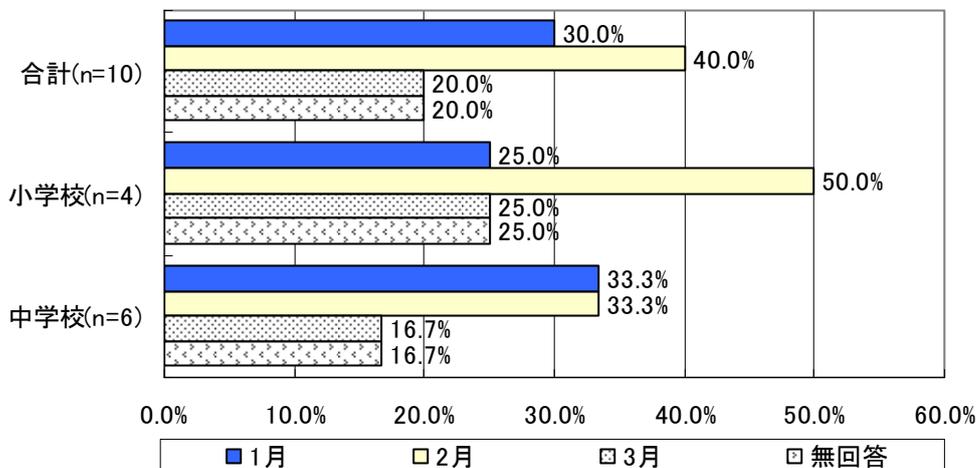
図 11-6 見学会等の具体的な実施時期【2学期】(MA)



注) 1月、2月などの回答が含まれているのは、2学期制の学校があるためである。

見学会等を3学期に実施している学校の具体的な時期をみると（複数回答）、全体では2月が40.0%、1月が30.0%となっている。小中学校別にみると、小学校では2月が半数で最も多く、中学校では1月と2月が33.3%ずつとなっている。ただし、3学期に実施している学校については対象校数が少ないため、結果の読みとりにおいては留意が必要である。

図 11-7 見学会等の具体的な実施時期【3学期】(MA)



(3) 見学実施計画の立案時期

見学実施計画の立案時期をみると（複数回答）、全体では「実施する年度の年度始め」が51.3%で最も多く、次いで「前年度中」が32.3%となっている。

小中学校別にみると、小学校では「実施する年度の年度始め」が54.9%と最も多く、次いで「前年度中」が24.8%となっている。また、中学校では「前年度中」が49.1%と約半数で最も多く、次いで「実施する年度の年度始め」が43.9%となっている。

図 11-8 見学実施計画の立案時期（MA）

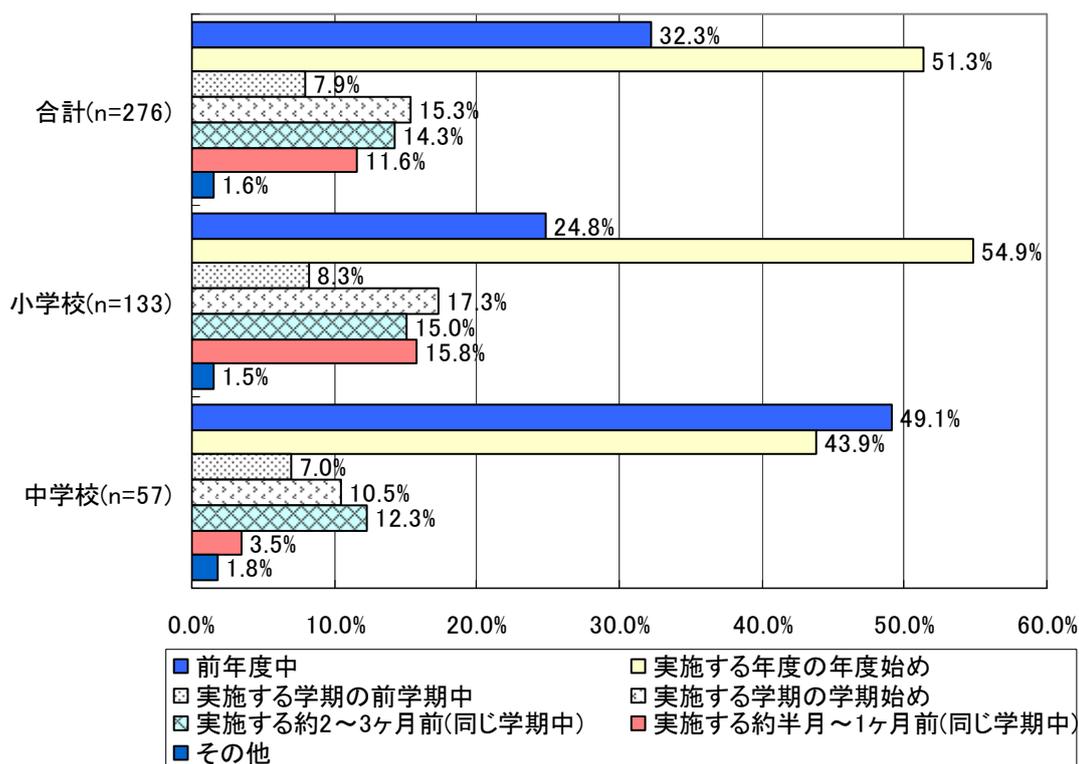


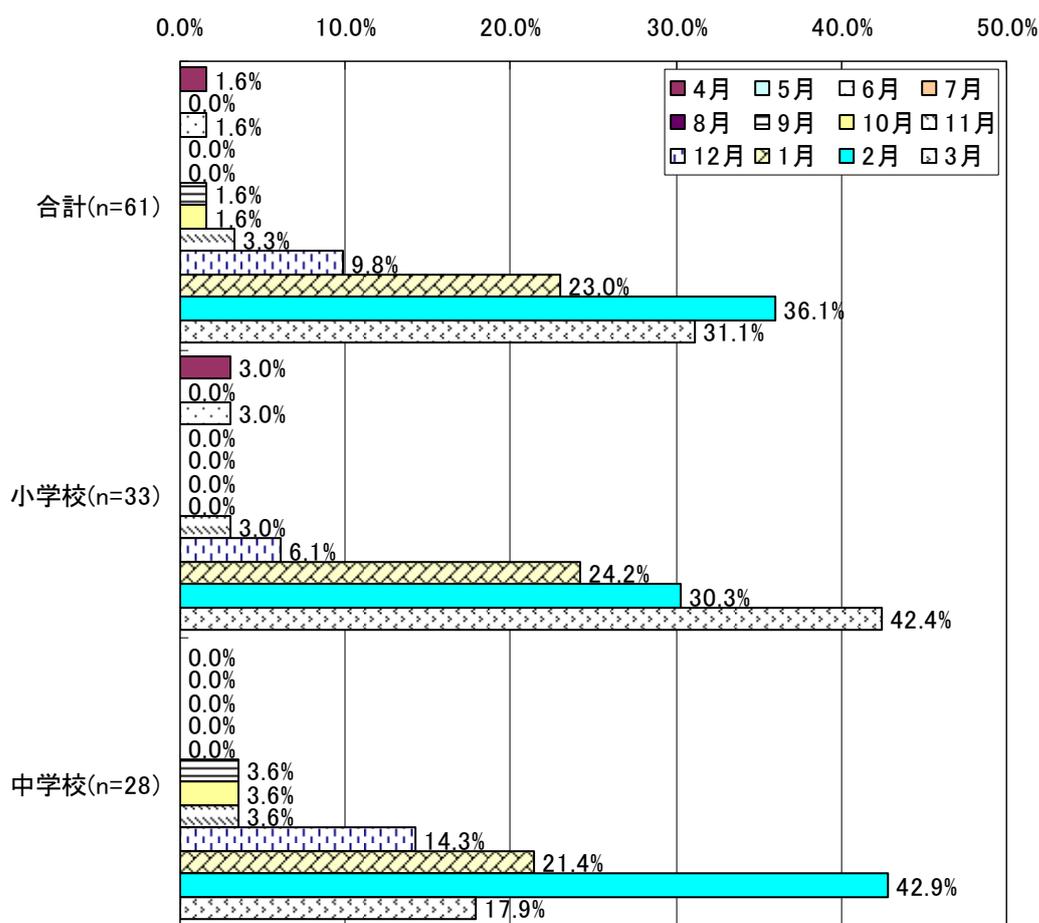
表 11-3 「その他」の自由記述

- ・体験学習の内容に応じて。
- ・実施する内容、学年により異なる。
- ・社会見学旅行は約1ヶ月前、その他は1～2週間前。

見学実施計画の立案が「前年度中」と回答した学校について、前年度中の具体的な立案時期をみると（複数回答）、全体では2月が36.1%で最も多く、次いで3月が31.1%、1月が23.0%となっており、1～3月に計画を立案している学校が多い。

小中学校別にみると、小学校では3月が42.4%で最も多く、2月が30.3%、1月が24.2%と続いている。また、中学校では2月が42.9%で最も多く、1月が21.4%、3月が17.9%となっている。

図 11-9 見学実施計画の具体的な立案時期【前年度中】(MA)



(4) 見学会等の時間帯

見学会等の時間帯をみると（複数回答）、全体では「一日」が 64.0%で最も多く、次いで「午前中」が 39.7%である。小中学校別にみると、小学校では「一日」が 60.9%で最も多く、次いで「午前中」が 48.1%と約半数を占めている。一方、中学校では「一日」が 71.9%と突出して多く、「午前中」は 21.1%にとどまっている。

また、「その他」の自由記述では、実施する内容により異なる（5件）、2日以上（3件）などがあげられている。

図 11-10 見学会等の時間帯（MA）

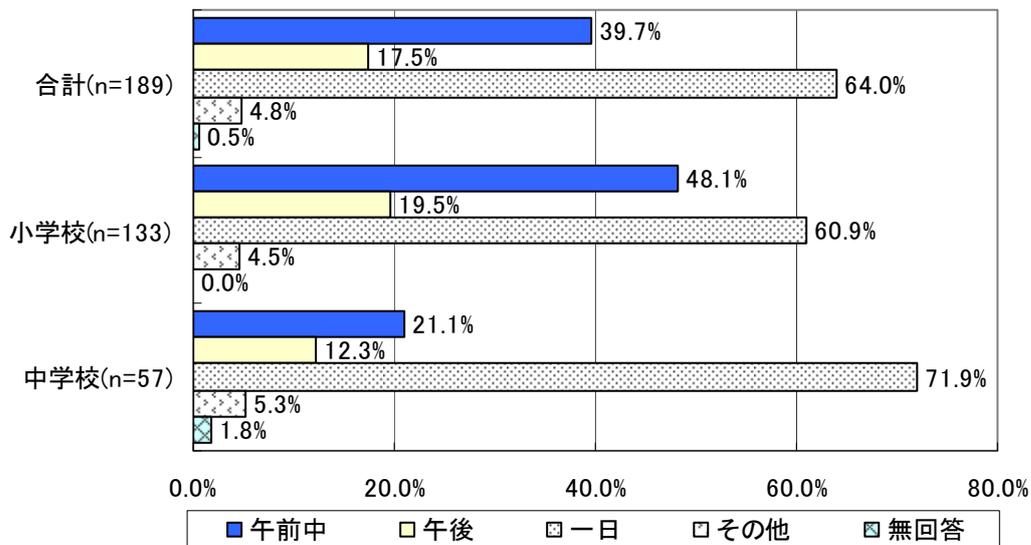


表 11-4 「その他」の自由記述

| |
|--|
| <p>■実施する内容により異なる(5件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手・学習内容により午前、午後、1日と様々。 ・実施する内容により異なる。 |
| <p>■2日以上(3件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験学習 3日間。 ・体験学習は 2日間。 ・一泊二日。 |

(5) 学校から見学先への移動手段

学校から見学先への移動手段をみると（複数回答）、全体では「貸し切りバス」が82.0%で突出して多く、次いで「公共交通機関（電車、路線バス等）」が28.6%、「徒歩のみ」が23.3%となっている。

小中学校別にみると、小学校では「貸し切りバス」が92.5%と9割を超えており、ほとんどの学校で利用されている。一方、中学校では「貸し切りバス」は57.9%と6割弱にとどまり、「公共交通機関（電車、路線バス等）」と「その他」が29.8%ずつとなっている。なお、「その他」の自由記述をみると、小学校では自治体のバスやスクールバスが12件、中学校では自転車が9件、各家庭の自家用車等が3件あげられている。

図 11-11 学校から見学先への移動手段（MA）

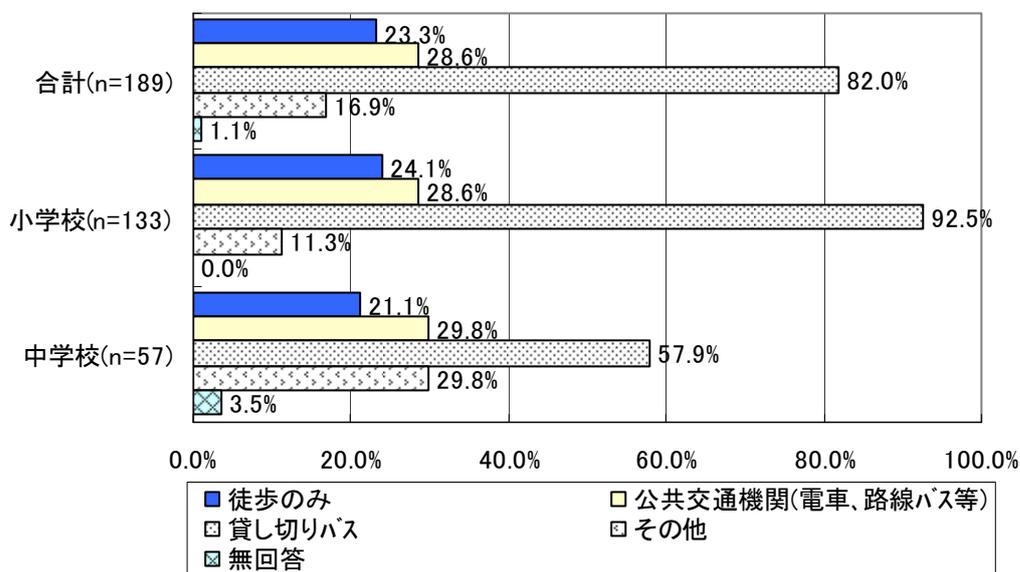


表 11-5 「その他」の自由記述

| |
|--|
| <p>■バス(13件/うち小学校12件・中学校1件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス(6件) ・自治体(市・町)所有のバス(5件) ・町福祉バス(2件) |
| <p>■自転車(9件/うち中学校9件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習は基本的に地域で行っていますので、自転車及び保護者の車です。 |
| <p>■自家用車等(3件/うち中学校3件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親の車 ・各家庭 |
| <p>■船(3件/うち中学校2件、小学校1件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渡船、定期船 |
| <p>■タクシー(2件/うち小学校2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャンボタクシー、タクシー |

(6) 見学先を選ぶ際に参考とする情報源

見学先を選ぶ際に参考とする情報源をみると（複数回答）、全体では「これまでの見学先」が81.5%で最も多く、次いで「他校との情報交換」が55.8%である。また、「行政・企業等からの案内」も37.3%と4割弱を占めており、新たな見学先を探す際に、行政や企業等から送付される情報も一定程度参考にされていることがわかる。

小中学校別にみると、小学校では「これまでの見学先」が92.3%で最も多く、次いで「他校との情報交換」が54.2%である。小学校では、過去の見学先が見学先選定にあたって大きな候補になっていることがうかがわれる。また、「教科書・資料集」は38.7%で、全体と比べて1割強多くなっている。

一方、中学校では「これまでの見学先」が69.9%と多く、次いで「他校との情報交換」が56.4%、「行政・企業等からの案内」が41.4%となっている。また、「教育委員会・教育庁からの案内」は38.3%と全体より1割多くなっており、中学校では、教育委員会等を通じた案内も比較的参考にされているといえる。

図 11-12 見学先を選ぶ際に参考とする情報源（MA）

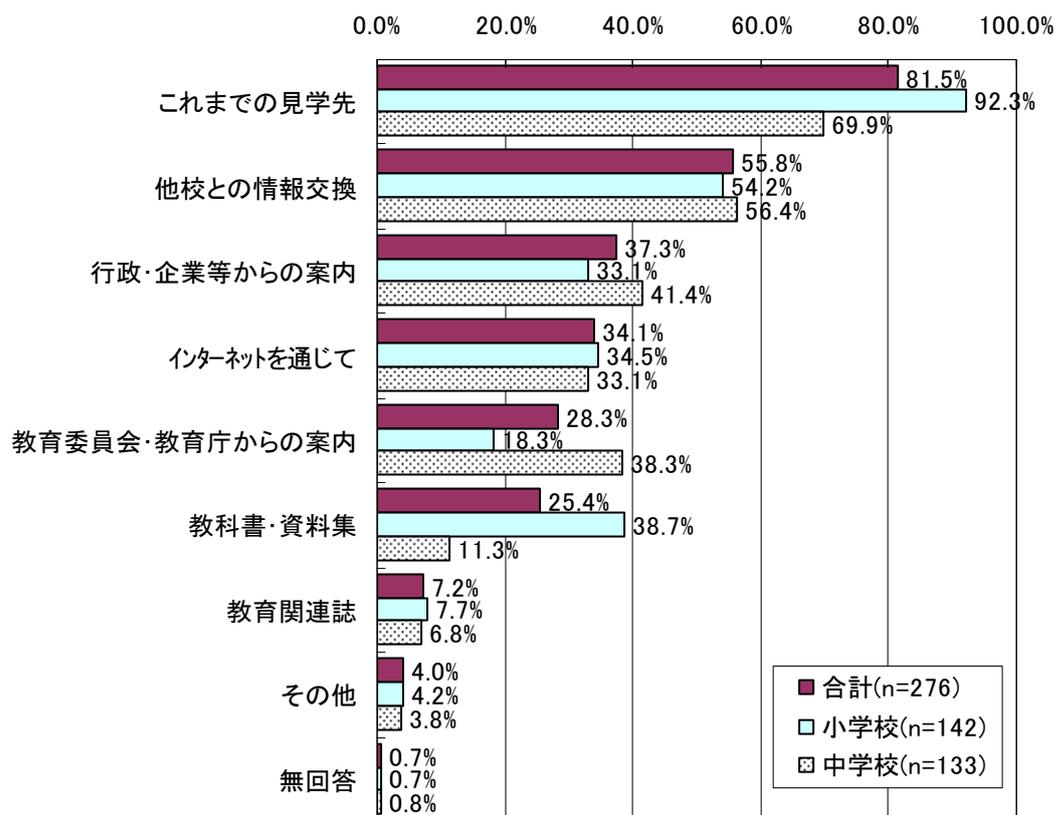


表 11-6 「その他」の自由記述

| |
|---|
| <p>■先生の知識・経験(2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任の経験 ・職員の知識 |
| <p>■電話等による直接問い合わせ(2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接電話でうかがう。 |
| <p>■その他(6件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光業者 ・校区内の事業所 ・生徒や保護者の希望 ・教職員間の情報 ・目的に応じて探す |

(7) 学校から見学先までの移動時間の許容範囲

学校から見学先までの移動時間の許容範囲をみると、全体では「1時間以内」が33.0%で最も多く、次いで「1時間半以内」が26.8%、「1時間半以上でも可」が16.3%となっている。

小中学校別にみると、小学校では「1時間半以内」が33.1%で最も多く、「1時間以内」が29.6%、「1時間半以上でも可」が22.5%と続いている。また、中学校では、「1時間以内」が36.8%で最も多く、次いで「1時間半以内」が21.1%である。また、「30分以内」も17.3%を占めており、小学校に比べて比較的短い時間で見学先まで移動できることが望まれている。これは、小学校では、見学先までの交通手段が主にバス（貸し切りバス、スクールバス、自治体所有のバス等）中心であるのに対し、中学校では公共交通機関（電車、路線バス等）や自転車等の割合が比較的多いためと思われる。

図 11-13 見学先の選定にあたり学校から見学先までの移動時間の許容範囲（SA）

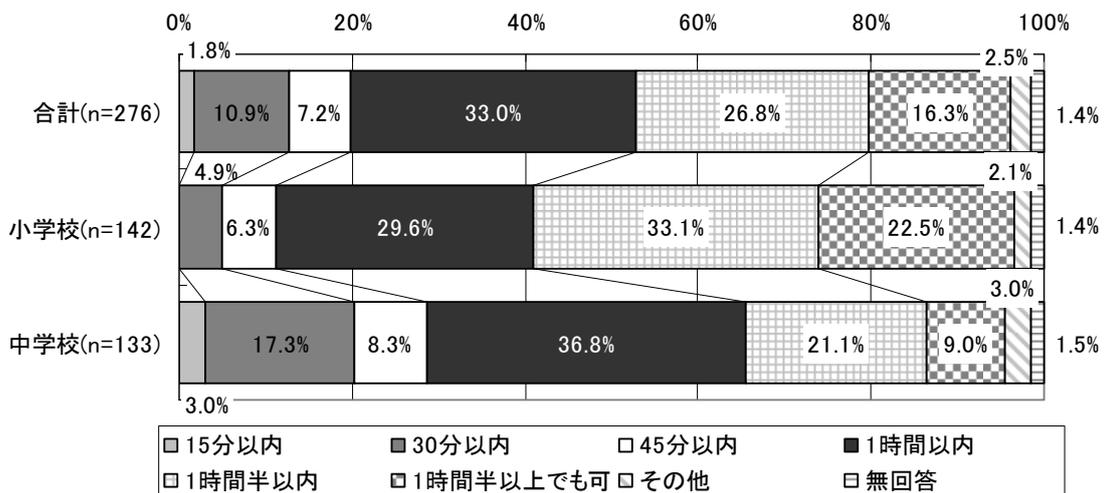


表 11-7 「その他」の自由記述

| |
|---|
| <p>■ 場所・活動目的等により異なる(3件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所によって違う。 ・活動の目的により異なる。 |
| <p>■ 県内もしくは市内(2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内を原則としている。 ・スクールバスを使用しているが、市内のみである。 |
| <p>■ その他(2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間の授業でおさめきれないので5分以内。 ・実施において1日以内で終了するのであれば、特にありません。 |

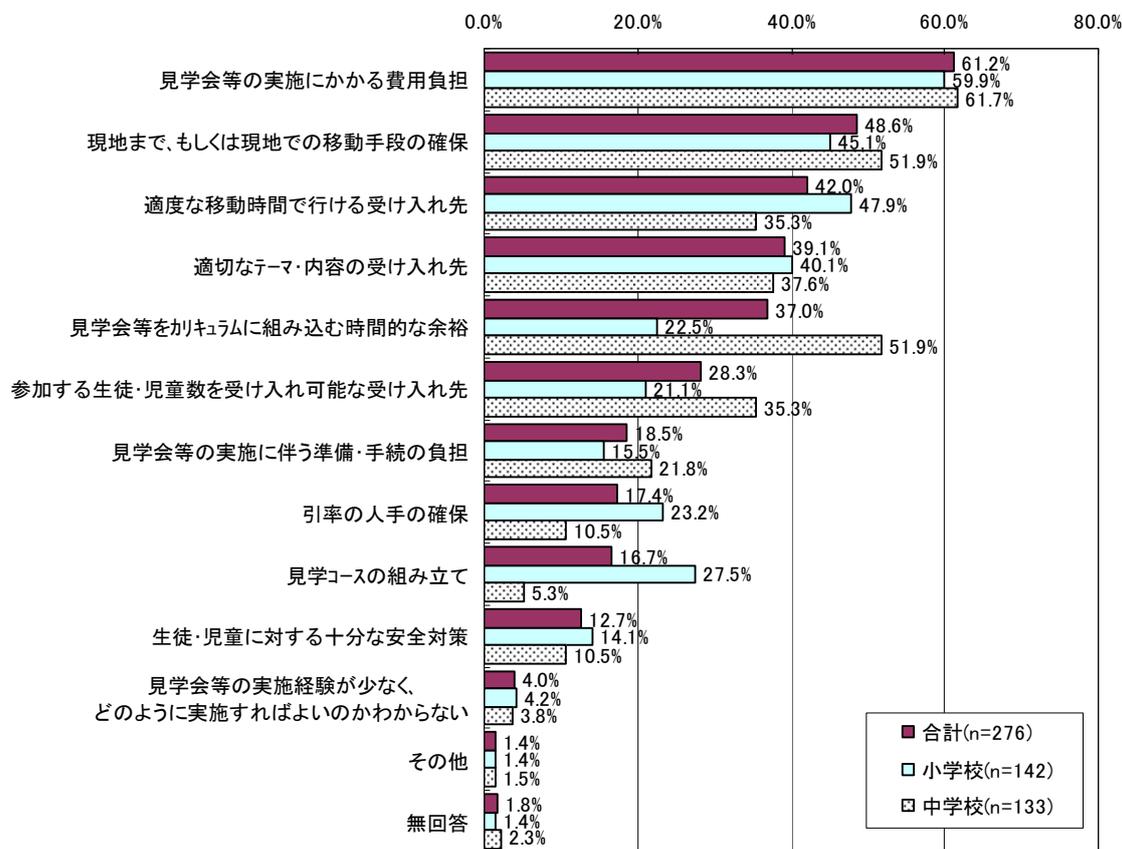
(8)見学会・体験学習を実施する上での課題

見学会・体験学習を実施する上での課題をみると、全体では「見学会等の実施にかかる費用負担」が61.2%で最も多く、次いで「現地まで、もしくは現地での移動手段の確保」が48.6%で半数弱となっている。また、「適度な移動時間で行ける受け入れ先」(42.0%)や、「適切なテーマ・内容の受け入れ先」(39.1%)など、見学会・体験学習の受け入れ先に関する課題がそれぞれ4割前後あげられている。

小中学校別にみると、小学校では「見学回答の実施にかかる費用負担」が59.9%で最も多く、次いで「適度な移動時間で行ける受け入れ先」が47.9%、「現地まで、もしくは現地での移動手段の確保」が45.1%と続いている。また、「見学コースの組み立て」(27.5%)が、全体に比べて約1割多くなっている。

中学校では、「見学会等の実施にかかる費用負担」が61.7%で最も多く、次いで「適度な移動時間で行ける受け入れ先」と「見学会等をカリキュラムに組み込む時間的な余裕」がそれぞれ51.9%である。「見学会等をカリキュラムに組み込む時間的な余裕」は全体と比べて約15%多く、見学会実施のための時間確保が特に課題となっていることがうかがえる。このほか中学校では、「参加する生徒・児童数を受け入れ可能な受け入れ先」(35.3%)も全体と比べて1割弱多くあげられている。

図11-14 見学会・体験学習を実施する上での課題 (MA)



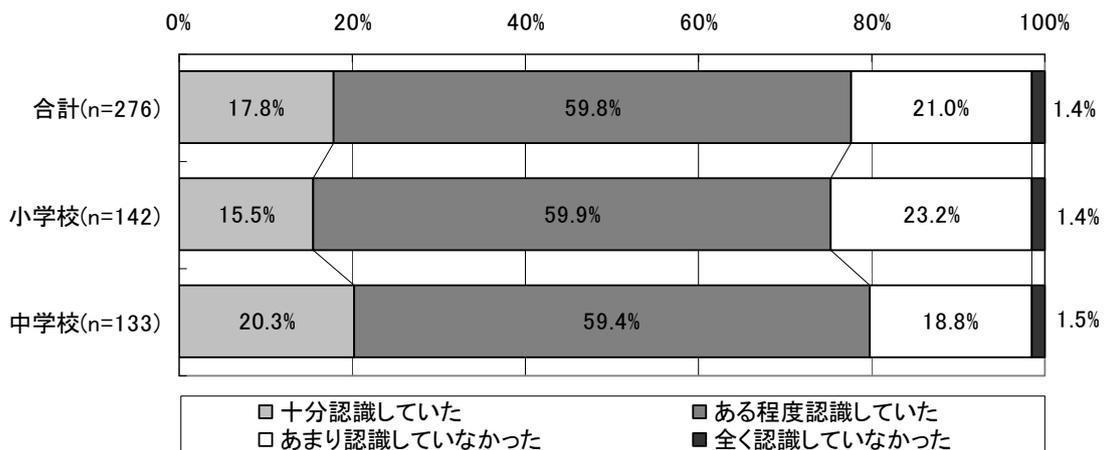
4. 海事産業に関する意識・関心について

(1) 海事産業の重要性の認識

海事産業（旅客船事業、内航海運業、港湾運送事業、倉庫業、造船業、船用工業）が我が国の産業・国民生活等を維持する上で不可欠な役割を果たしていることについて、こうした重要性を以前より認識していたか聞いたところ、全体では「ある程度認識していた」が59.8%で最も多く、「十分認識していた」（17.8%）を合わせると、8割弱が以前より重要性を認識していたと回答している。一方で、「あまり認識していなかった」は21.0%で、約2割を占めている。

小中学校別にみると、小中学校とも、「ある程度認識していた」が約6割で最も多いが、小学校では「あまり認識していなかった」の割合も23.2%と全体と比べてやや多くなっている。一方、中学校では「十分認識していた」が20.3%と、全体と比べてやや多くなっている。

図 11-15 海事産業の重要性の認識（S A）

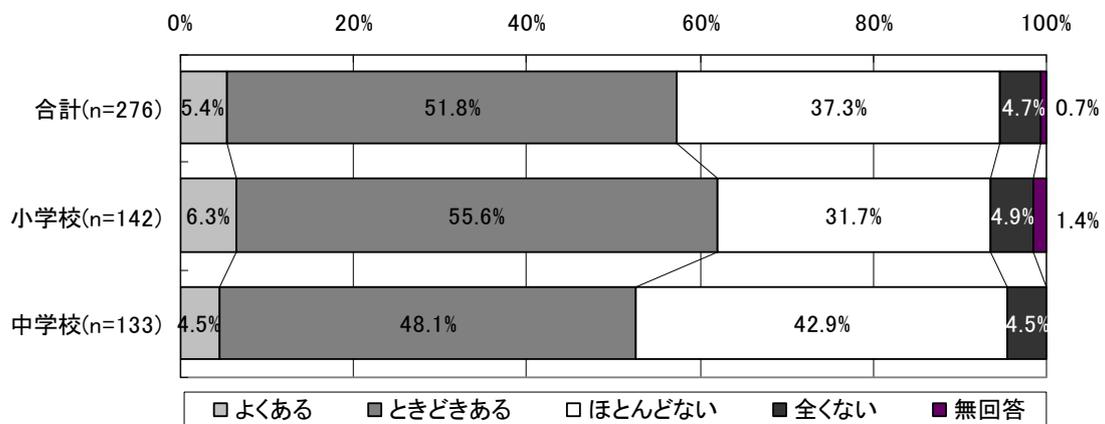


(2) 社会科等の教育の場で海事産業について取り上げる機会

社会科等の教育の場で海事産業について取り上げる機会をみると、「ときどきある」が51.8%で約半数を占め、「よくある」(5.4%)を合わせると6割弱となっている。一方、「ほとんどない」は37.3%で、「全くない」(4.7%)を合わせると約4割である。

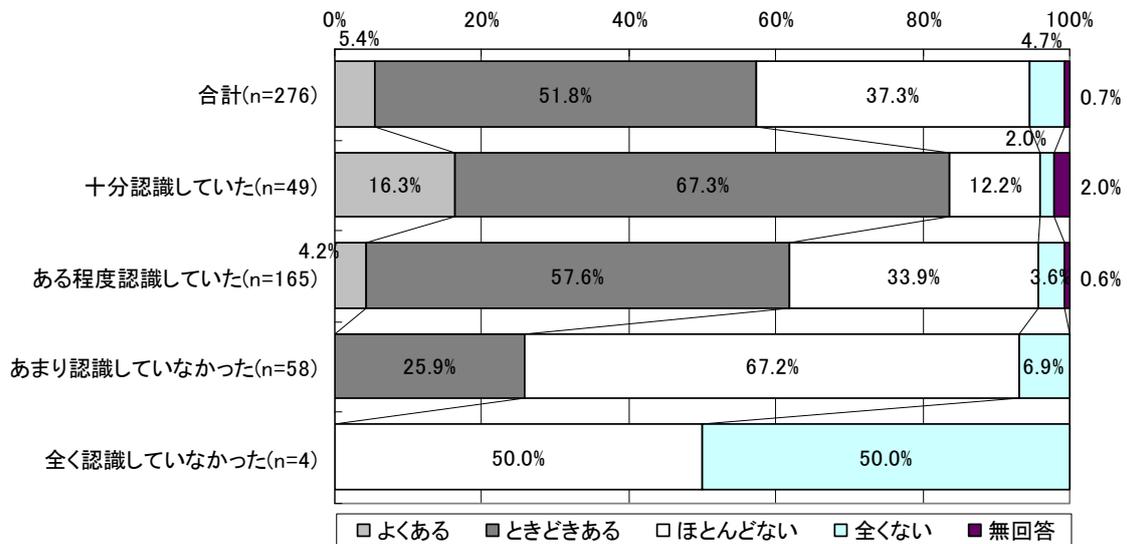
小中学校別にみると、小学校では「よくある」及び「ときどきある」の合計が61.9%と6割を超えており、全体よりやや多くなっている。一方、中学校では「ほとんどない」が42.9%と4割以上を占めており、中学校では海事産業について取り上げる機会がやや少ないことがうかがえる。

図 11-16 社会科等の教育の場で海事産業について取り上げる機会 (S A)



また、海事産業の重要性に対する認識別に、社会科等の教育の場で海事産業について取り上げる機会をみると、「十分認識していた」、「ある程度認識していた」では、「よくある」及び「ときどきある」の合計が6～8割前後を占めている。一方、「あまり認識していなかった」、「全く認識していなかった」では、「ほとんどない」及び「全くない」の合計が7割以上と高くなっており、海事産業の重要性に対する認識と、海事産業について取り上げる機会の間に関連関係があることがわかる。

図 11-17 社会科等の教育の場で海事産業について取り上げる機会
【海事産業の重要性に対する認識別】(SA)



社会科等の教育の場で、海事産業について取り上げる機会が「ほとんどない」または「全くない」と回答した学校について、海事産業について取り上げることが少ない理由をみると（複数回答）、全体では「社会科の教科書・資料集等であまり取り上げられていないから」が65.5%で最も多く、次いで「カリキュラムに組み込むには授業時間が足りないから」が49.1%、「海事産業に関する教員の知識が十分でないから」が39.7%となっている。

小中学校別にみると、小学校では「社会科の教科書・資料集等であまり取り上げられていないから」が71.2%と7割を超えており、次いで「カリキュラムに組み込むには授業時間が足りないから」が46.2%である。

中学校では、「社会科の教科書・資料集等であまり取り上げられていないから」が60.3%で最も多いが、「カリキュラムに組み込むには授業時間が足りないから」（52.4%）や、「海事産業に関する教員の知識が十分でないから」（42.9%）も全体と比べてやや多くあげられている。

また、「その他」の自由記述では、学校が山間地のため（2件）や、見学場所が学校から遠いため（2件）などがあげられている。

図 11-18 社会科等の教育の場で海事産業について取り上げることが少ない理由（MA）

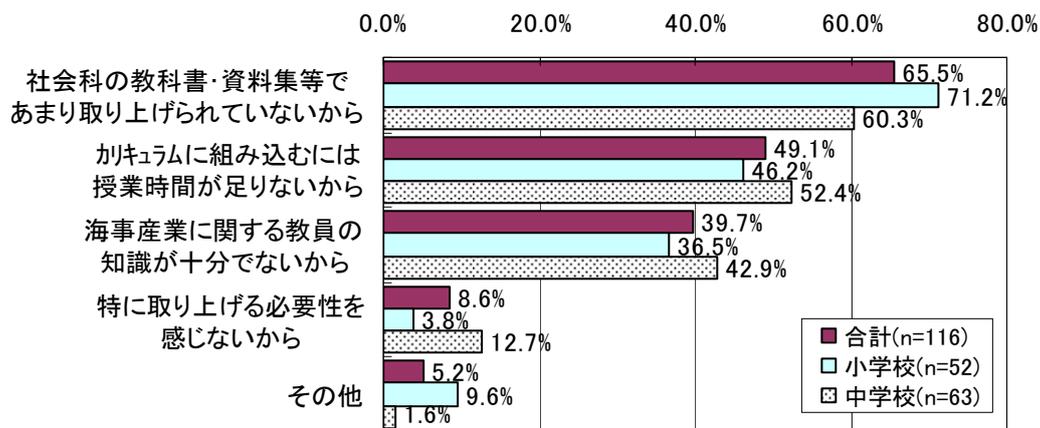


表 11-8 「その他」の自由記述

| |
|--|
| <p>■学校が山間地のため(2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校が山間地にある。 ・地域的に山間部に位置していて、なじみが薄いから。 |
| <p>■見学場所が学校から遠いため(2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30分以内の見学地がない。 ・現地に行くまでの距離や時間がかかるので、困難だと考えます。 |
| <p>■その他(2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通手段、費用、給食時間。 ・漁業関係(食料・工業(生産))などにかかわらないので。 |

5. 海事産業に関する見学会・体験学習について

(1) 海事産業に関する見学会・体験学習を実施することへの関心

海事産業に関する見学会・体験学習を実施することへの関心をみると、全体では、「ある程度関心がある」が 59.8%で最も多く、「非常に関心がある」(6.5%)を合わせると、7割弱を占めている。一方、「あまり関心はない」は 29.7%で、「全く関心はない」(1.1%)を合わせると約3割となっている。

小中学校別にみると、小学校では「ある程度関心がある」が 64.8%で最も多く、「非常に関心がある」(9.2%)と合わせると、約4分の3が関心があると回答している。一方、中学校では「あまり関心はない」が 36.1%と全体と比べて1割弱多く、「ある程度関心がある」(55.6%)と「非常に関心がある」(3.8%)の合計は6割弱となっている。

また、海事産業の重要性に対する認識別に、海事産業に関する見学会・体験学習への関心をみると(図II-20)、「十分認識していた」、「ある程度認識していた」では、関心がある学校(「非常に関心がある」及び「ある程度関心がある」の合計)が7～8割前後を占めるが、「あまり認識していなかった」、「全く認識していなかった」では、関心がない学校(「あまり関心はない」及び「全く関心はない」の合計)の占める割合が約半数以上と高い。

さらに、社会科等の教育の場で海事産業について取り上げる機会別(図II-21)にみても、取り上げる機会が「よくある」及び「ときどきある」では、関心がある学校が約8割に上る一方、取り上げる機会が「ほとんどない」や「全くない」では、関心がない学校が4～8割前後を占めている。

これらより、海事産業の重要性に対する認識が強い学校や、社会科等で海事産業について取り上げる機会が多いほど、海事産業に関する見学会・体験学習を実施することへの関心が高いことがわかる。

図 II-19 海事産業に関する見学会・体験学習を実施することへの関心 (SA)

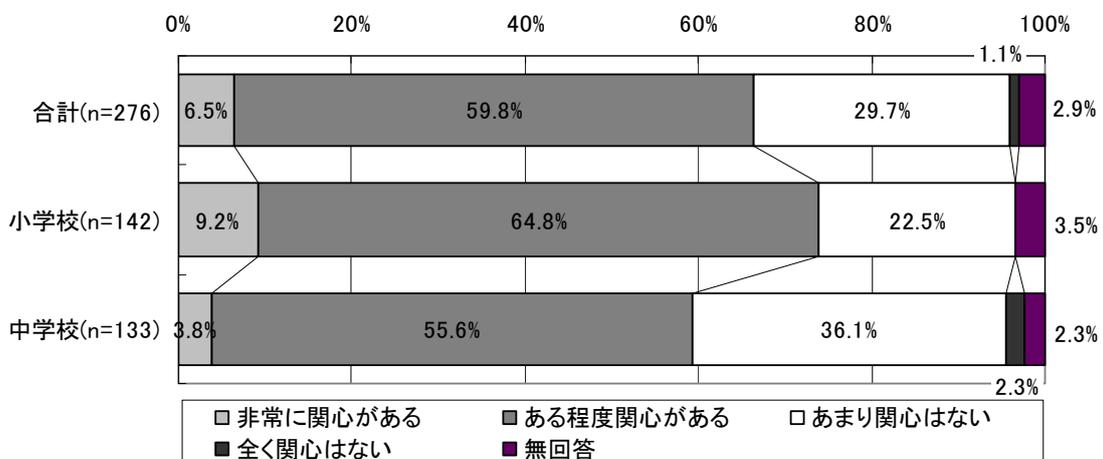


図 11-20 海事産業に関する見学会・体験学習を実施することへの関心（SA）

【海事産業の重要性に対する認識別】

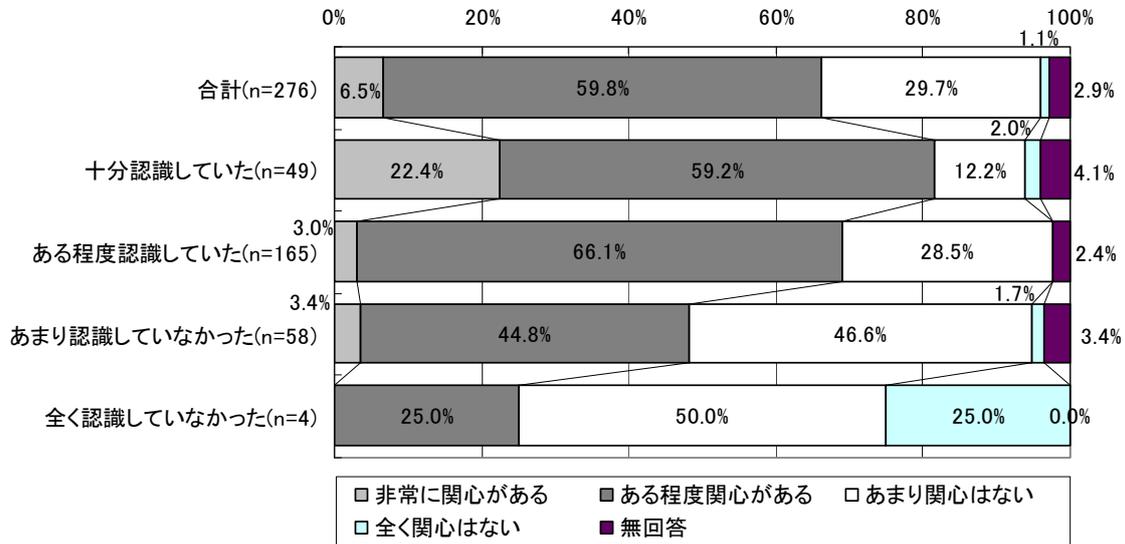
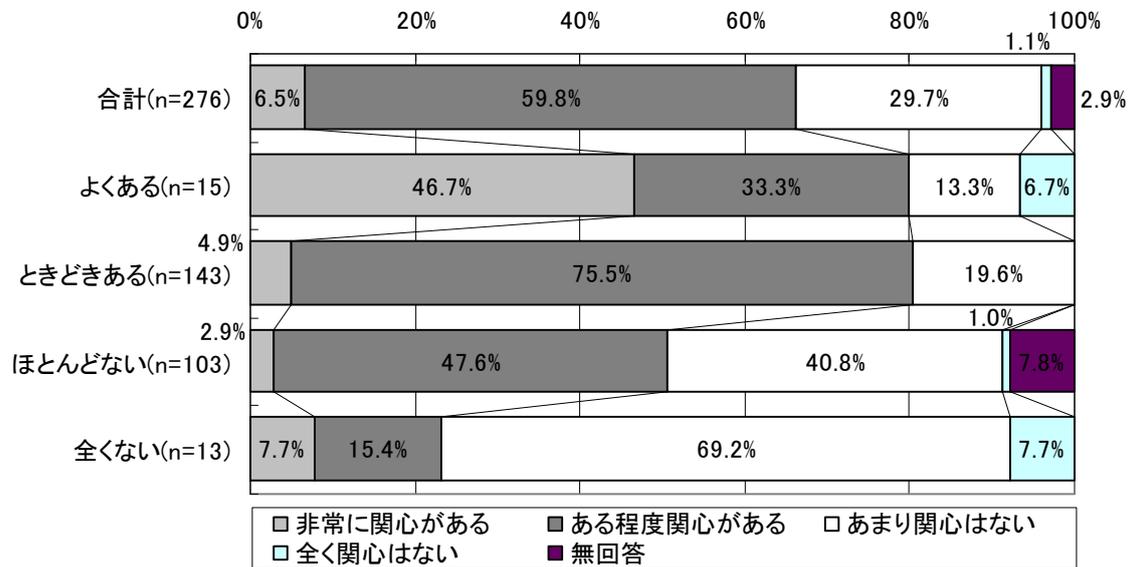


図 11-21 海事産業に関する見学会・体験学習を実施することへの関心（SA）

【社会科等の教育の場で海事産業について取り上げる機会別】



(2) 参加してみたいと思う海事産業に関する見学会・体験学習

現在、協議会が実施している海事産業に関する見学会・体験学習のメニューのうち、参加してみたいと思うものをきいたところ（複数回答）、全体では、「旅客船見学・体験乗船」（59.1%）と「造船所・進水式見学」（56.5%）が半数を超えており、これら2つのメニューへの参加意向が高いことがわかる。

小中学校別にみると、小学校では、「旅客船見学・体験乗船」が67.6%で最も多く、次いで「造船所・進水式見学」が59.9%である。また、「貨物船（RORO船・内航船）見学」も45.1%と全体と比べて1割強多く、小学校では船の見学に関するメニューへの参加意向が高いことがうかがえる。

中学校では、「造船所・進水式見学」（52.6%）及び「旅客船見学・体験乗船」（50.4%）が半数を超えているが、全体と比べると「旅客船・遊覧船の職場体験」（42.9%）や「マリナー施設見学、マリナー業務体験学習」（24.8%）、「海上技術学校の練習船への体験乗船」（20.3%）、「水産関係高等学校への体験入学」（18.0%）などの割合が多く、単に見学にとどまらず、海事に関する職場体験や現場体験ができるメニューへの参加意向が高くなっている。

図 11-22 参加してみたいと思う海事産業に関する見学会・体験学習（MA）

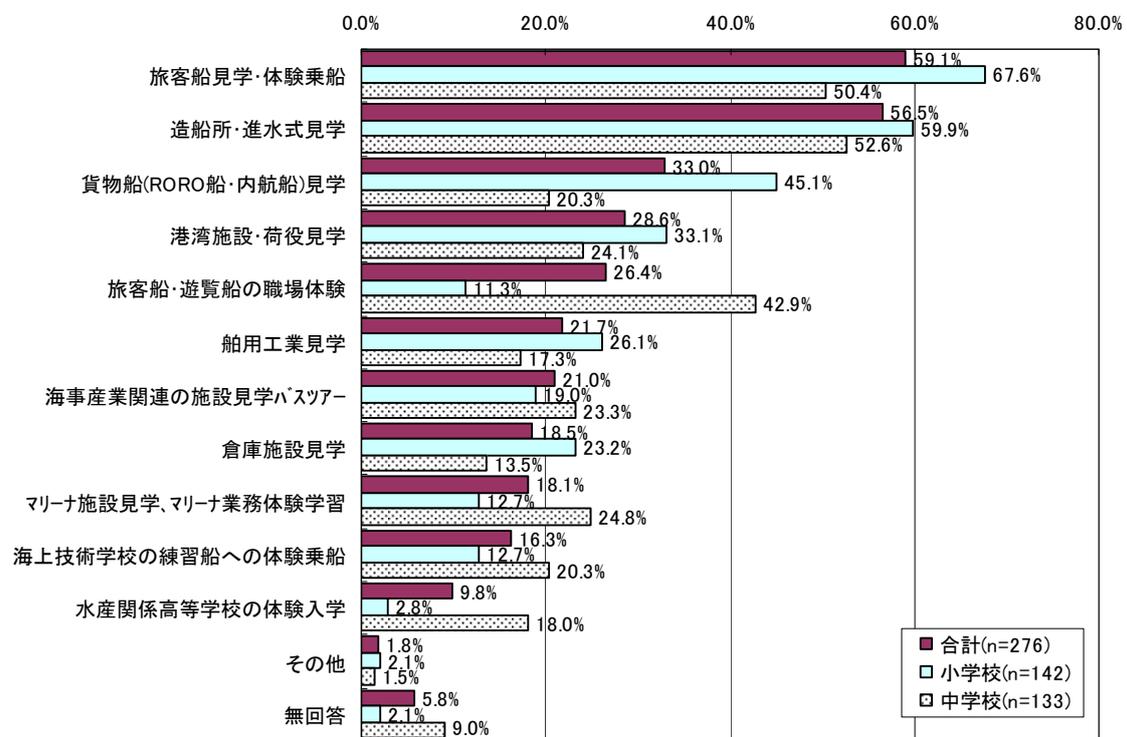


表 11-9 「その他」の自由記述

- ・沿岸 遠洋漁業について。
- ・コンテナターミナルの見学、キャリア教育の視点に立った職場体験学習。

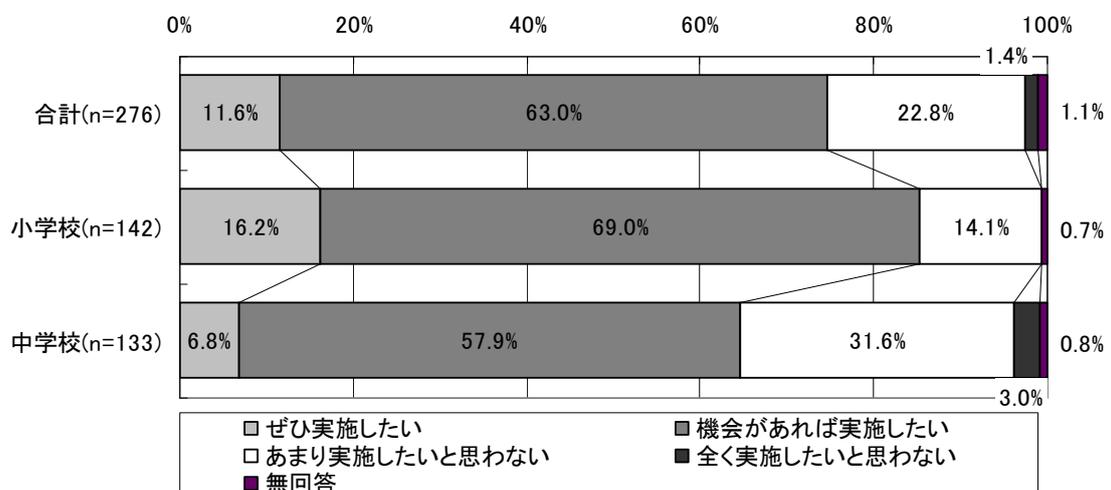
(3) 協議会が費用や見学メニュー等を提供した場合の海事産業関連の見学会・体験学習の実施意向

協議会がバス代や見学費用、見学メニュー等を提供した場合、社会科等の教育の場において、海事産業関連の見学会・体験学習を実施したいと思うか聞いたところ、全体では、「機会があれば実施したい」が63.0%と最も多く、「ぜひ実施したい」(11.6%)と合わせると約4分の3の学校では積極的な意向を有している。一方、「あまり実施したいと思わない」は22.8%で、「全く実施したいと思わない」(1.4%)を合わせると、消極的な意向は2割強となっている。

小中学校別にみると、小学校では、「ぜひ実施したい」(16.2%)、「機会があれば実施したい」(69.0%)とともに全体より約5%多く両者を合わせると8割以上となることから、見学費用や見学メニュー等が提供された場合、見学会や体験学習を実施したいとの意向は比較的高いといえる。

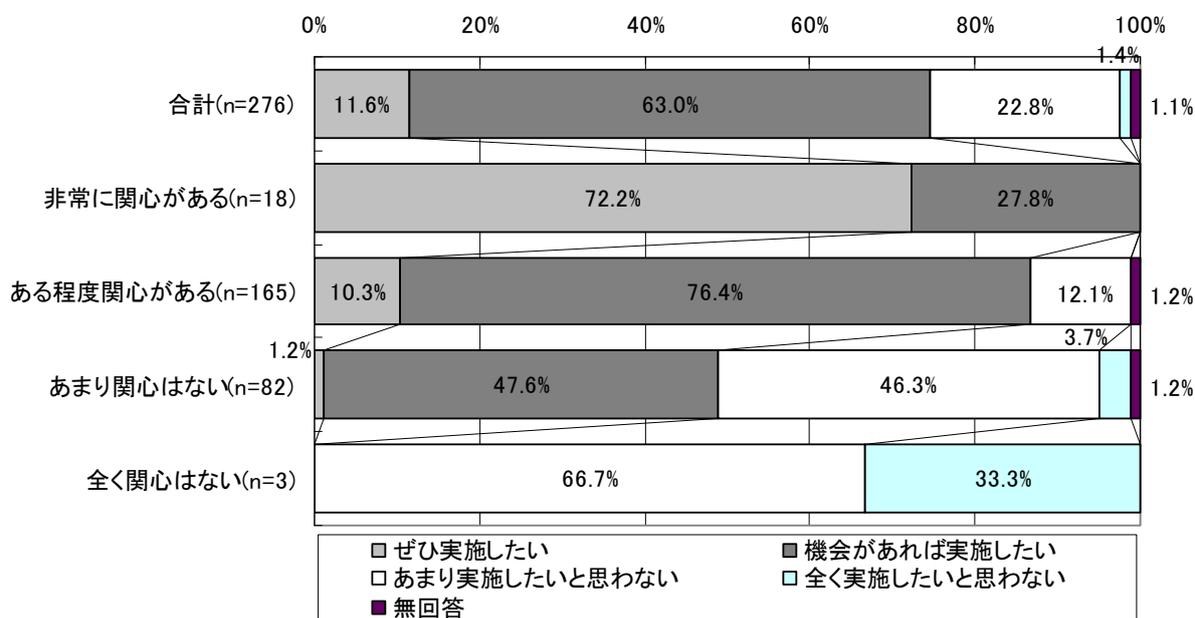
中学校では「機会があれば実施したい」が57.9%で最も多いが、一方で「あまり実施したいと思わない」(31.6%)や「全く実施したいと思わない」(3.0%)を合わせると消極的な意向も3割強を占め、全体と比べて約1割多くなっている。

図 11-23 協議会が費用や見学メニュー等を提供した場合の海事産業関連の見学会・体験学習の実施意向 (S A)



また、海事産業に関する見学会・体験学習への関心別に実施意向をみると、「非常に関心がある」では、「ぜひ実施したい」が72.2%と高い実施意向を示している。一方、「あまり関心はない」、「全く関心はない」では、消極的な意向（「あまり実施したいと思わない」及び「全く実施したいと思わない」の合計）が半数以上に上っており、海事産業に関する見学会・体験学習を実施することへの関心が高いほど、協議会が費用や見学メニュー等を提供した場合の実施意向も高いという相関がみられる。

図 11-24 協議会が費用や見学メニュー等を提供した場合の海事産業関連の見学会・体験学習の実施意向【海事産業に関する見学会・体験学習への関心別】（S A）



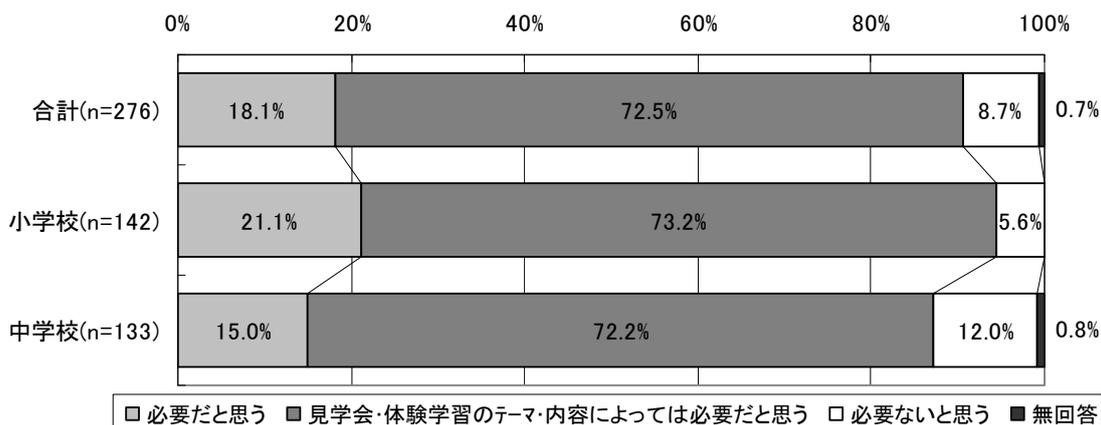
(4) 先生方への出前講座の必要性

協議会では、見学会や体験学習を実施する前に、必要があれば引率の先生方に対する出前講座（海事産業の役割に関する説明会等）を行っている。こうした出前講座が必要と思うかきいたところ、全体では、「見学会・体験学習のテーマ・内容によっては必要だと思う」が72.5%と突出して多く、「必要だと思う」（18.1%）を合わせると約9割が必要との回答であった。

小中学校別にみると、小学校では「見学会・体験学習のテーマ・内容によっては必要だと思う」（73.2%）、「必要だと思う」（21.1%）ともに全体よりやや多く、出前講座について、必要だとする考えが9割以上に上っている。

一方、中学校では、「見学会・体験学習のテーマ・内容によっては必要だと思う」が72.2%で最も多いが、「必要ないと思う」（12.0%）の割合も1割強あり、全体と比べてやや多くなっている。

11-25 見学会・体験学習を実施する前にしている先生方への出前講座の必要性（S A）



先生への出前講座を実施する場合の望ましい時期については、全体では、「実施する約1ヶ月前(同じ学期中)」が23.9%で最も多く、次いで「実施する年度の年度始め」(15.6%)、「前年度中」(15.6%)、「実施する学期の学期始め」(14.5%)がそれぞれ15%前後で拮抗している。

小中学校別にみると、小学校では「実施する約1ヶ月前(同じ学期中)」が26.8%で最も多く、次いで「実施する学期の学期始め」が17.6%であり、全体と比べると比較的見学会・体験学習に近い時期に実施することが望ましいとの意見が多くあげられている。

一方、中学校では「実施する約1ヶ月前(同じ学期中)」が21.1%と最も多いが、「前年度中」(19.5%)や「実施する年度の年度始め」(16.5%)も全体と比べてやや多く、見学会・体験学習よりもかなり早い時期に実施することが望ましいとの意見が比較的多くあげられている。

また、「その他」の自由記述では、夏季(長期)休業中(13件)との意見が多くあげられている。

図 11-26 先生への出前講座を実施する場合の望ましい実施時期 (SA)

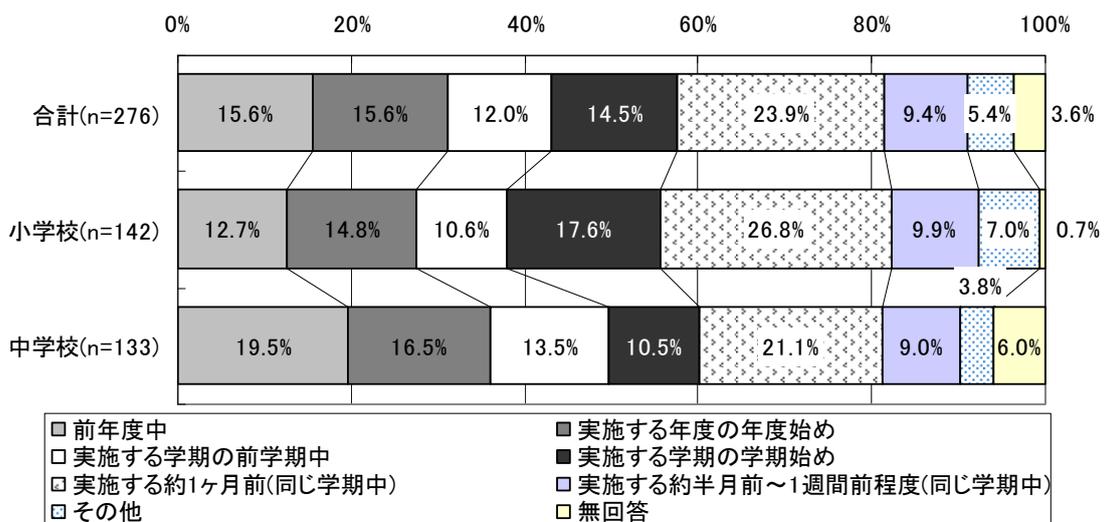


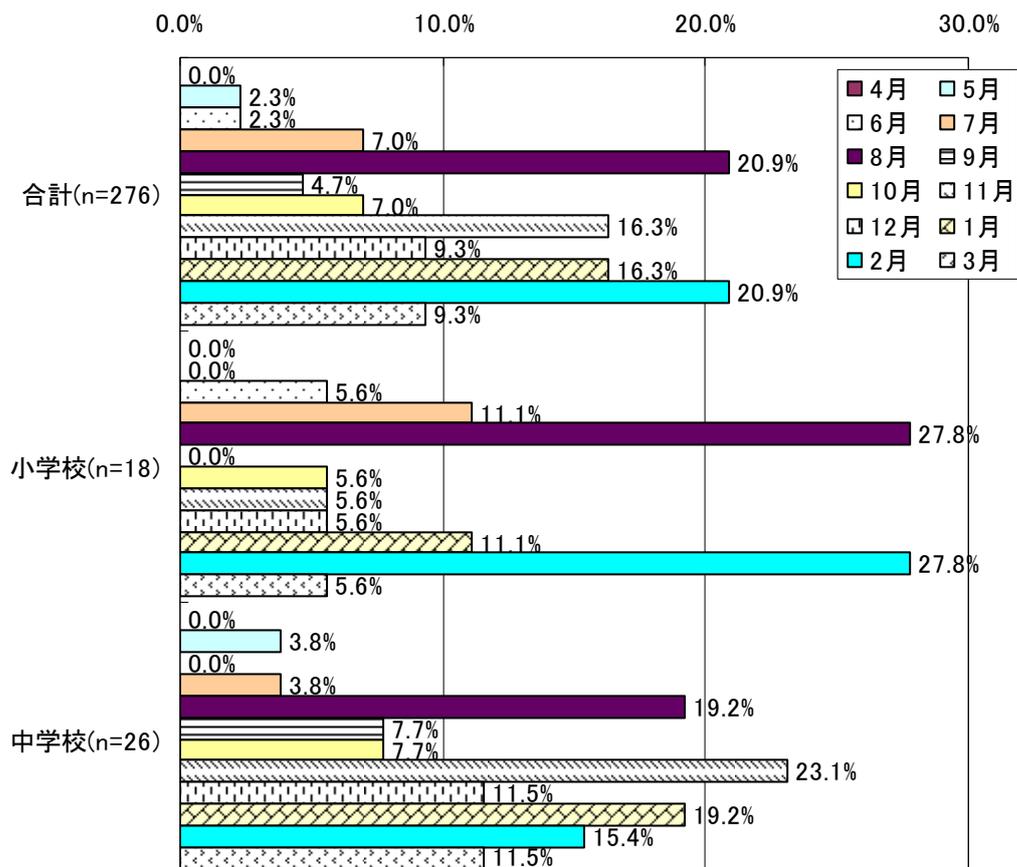
表 11-10 「その他」の自由記述

| |
|---|
| <p>■夏季(長期)休業中(13件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業期間では余裕がないので夏休み等。 ・長期休業中。 |
| <p>■その他(1件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座内容による。 |

出前講座の望ましい実施時期が「前年度中」と回答した学校に対して、その具体的な時期をきいたところ（複数回答）、全体では8月と2月がそれぞれ20.9%で最も多く、次いで11月と1月が16.3%となっている。

小中学校別にみると、小学校では8月と2月が27.8%で最も多い。また、中学校では11月が23.1%で最も多く、次いで8月と1月がそれぞれ19.2%となっている。

図 11-27 先生への出前講座を実施する場合の具体的な実施時期【前年度中】(MA)



6. 自由回答

海事産業関連の見学会・体験学習の実施について、自由回答で意見・要望等を記入してもらったところ、合計 51 件の意見があげられた。

意見の内容をみると、時間的余裕の不足（カリキュラムや移動時間等）に関する意見が 12 件で最も多く、次いで見学会・体験学習の実施に対する積極的な意見が 9 件、海事産業に関する実施ニーズの低さに関する意見が 6 件であった。

また、協議会が提供している見学メニュー等を利用して、これまでに見学会・体験学習を実施した学校（もしくは今後実施する予定）から 5 件の意見が寄せられており、いずれも貴重な学習機会になったと高い評価を得ている。

| 自由回答意見 | 都道府県 | 属性 |
|--|------|-----|
| ■時間的余裕の不足(カリキュラム・移動時間等)(12件) | | |
| 興味はあるのですが、忙しくて余裕がないのが実態です。毎年、自動車工場を見学していますが、上記の船用工場で代替可(近くにあれば、せめて県内) | 福岡県 | 小学校 |
| 中学校の場合には、3年の修学旅行に向けて1・2年時にその練習をさせるという意味合いが強いので、海事産業関連、つまり、1ヶ所の見学は、むずかしいのではないかと。 | 福岡県 | 中学校 |
| 希望はしても、カリキュラムの関係でかなり困難が予想される。高学年の修学旅行と関連づけることができれば、可能性もあると予想される。 | 佐賀県 | 小学校 |
| 海の間近にある地区ですが、魚つりを楽しむ機会すら少なく、眺めるだけの海となっています。長崎造船所の見学もままならない実情です。 | 長崎県 | 小学校 |
| カリキュラム上、海事産業関連と関わりがあるのが5年生の社会科であると思う。しかし、本校では、4年生では長崎市内の平和、浄水場、科学館等の見学を実施しているが5年生では、社会科見学を実施していない。新たに行事を増やすことは難しいかもしれない。 | 長崎県 | 小学校 |
| 学習したいことはたくさんある。特に4年生で学習する内容については見学にいくようにしている。事前事後もいるので、他にも行くと時間の確保が難しい。 | 長崎県 | 小学校 |
| 職場体験学習の一つとして実施は可能だが、それ以外は時間的に難しい。 | 長崎県 | 中学校 |
| 見学会・体験学習の大切さは理解できるが現地までの移送手段の確保と授業時間確保のため社会見学を一部中止せざる状況がある。 | 大分県 | 小学校 |
| 特にございません。(本校は内陸部に位置するため、移動時間等を考えると見学会等は実施しづらい状況にあります。) | 宮崎県 | 中学校 |
| なかなか、時間設定等が難しい。 | 宮崎県 | 中学校 |
| 新学習指導要領改訂により、授業内容が大幅に増え体験学習をする時間、ゆとりがない現状です。今、学校ではどのようにして時間を生み出していくか苦慮しているところです。 | 鹿児島県 | 小学校 |
| 海事産業についての学習は5年生になると考えます。5年生は高学年として、学校行事にプラス水泳大会、市の体育大会、さらに三日間の宿泊学習と授業時数の確保に追われています。自転車工場見学が優先されます。見学先とするのは、大変難しいと思われます。申し訳ありません。 | 山口県 | 小学校 |

| ■見学会・体験学習の実施に対する積極的な意見(9件) | | |
|---|------|-----|
| 当校は山間地であるから、海に関しての学習や体験は子どもたちが意欲的に取り組むと考えられる。 | 福岡県 | 小学校 |
| 本校は比較的内陸部にあるため、なかなか海洋に関する行事等に接する機会がありません。そういう点では、もっと子ども達に海洋の事に興味を持たせていく必要があると思います。 | 佐賀県 | 小学校 |
| 小学校では5年生の社会科「日本の水産業」について、海事産業が少し記述されています。近くに海事産業関連の工場等あれば見学による学習もあると思いますが、そうでない校区であれば、ほとんど学習することはありません。見学メニューやバス代等の提供をいただければ、子どもたちが海事産業にふれる機会になると思います。教職員の夏季休業等を利用した出前講座の実施があれば嬉しいです。 | 佐賀県 | 小学校 |
| 長崎県は美しく豊かな海に囲まれた県であり、漁業・造船などの仕事も大きな役割を果たしていると思います。長崎だからできる授業があると思いますので、何らかの形で実施ができればよいと思います。 | 長崎県 | 中学校 |
| このような事業があることを今回アンケートをして認識しました。今後も広報活動をしていただき、情報が教員の目にとまるよう、尽力いただければと思います。 | 長崎県 | 小学校 |
| 臼杵市は海もあり大変 漁業・造船業も盛んであるが、野津町は、海もなく子どもたちは、海についてあまり知らないし、親しみもない。5年を中心に学習するが、見学させてあげたい。 | 大分県 | 小学校 |
| 本校では、進路学習の充実に向けて、様々な機会を生徒に提供したいと考えています。海事産業についての接点が、これまであまりありませんでしたので、よい機会かなと考えています。 | 宮崎県 | 中学校 |
| 山あいの学校ですので、海に触れる機会がありません。教科書、資料、インターネットで産業の学習をしています。ぜひ体験学習できればと思います。 | 鹿児島県 | 小学校 |
| 現在、本校では職場体験学習には海事産業関連の事業所は1つも入っておらず、残念です。距離や交通手段などクリアできる方法があれば開拓してみたい分野です。 | 鹿児島県 | 中学校 |
| ■海事産業に対する関心の低さ(6件) | | |
| 全国一様にニーズがあるとは思えないので、港湾都市や水産高校のある都市、あるいは、海に暮らす地域と交流のある山村地域などに絞ってはどうかと思う。 | 福岡県 | 小学校 |
| 山間地の学校で、子どもをいかに地元産業にとどめていくかが課題の本校です。案内はありがたいのですが、現実にはむずかしいと思います。 | 福岡県 | 中学校 |
| 10年近く内航海運、外航海運に会社員として働いてきましたが、学校現場ではなかなか生徒が身近に感じてはくれないのが現状です | 福岡県 | 中学校 |
| 地域の特性に応じて、見学会を実施することが大切。 | 佐賀県 | 小学校 |
| 本校は山間部の中学校なので、生徒は海事産業には馴染みがなく、関心も薄い。地理的にもハンディキャップがあり、見学会・体験学習は困難であり、今まで実施を計画したことはない。 | 大分県 | 中学校 |
| 本校は、宮崎市の西部に位置し、海岸まで20kmであり、周囲は山々。海事産業に関心は低い。2年生での修学旅行でフェリーを利用したり各施設を見学するのが現実的だと思われる。 | 宮崎県 | 中学校 |
| ■カリキュラム・教科書等における位置づけについて(5件) | | |
| 大変重要な産業だとは思っております。また子ども達にも体験させれば新しい世界へ目を向けることができると思います。現状は決められたカリキュラム(内容)の中で予定していますので、小学校では、問14(※あまり実施したいとは思わない)のようになってしまいます。 | 福岡県 | 小学校 |
| どうしても、社会科見学の計画を立案する際、教育課程、具体的には教科書で厚く取り扱われている内容に関する施設への見学を第一に考えます。指導効果を高めるためです。新しい教科書で、海事産業がどのように扱われているか、気になるところです。 | 福岡県 | 小学校 |
| 教科書の中で海事産業について、とりあげられている部分は少ないと思う。指導内容の中により位置づけてあるなら、積極的に見学など実施します。他の産業や町内の身近な施設見学、体験的学習の方に時間が設定されているのが現状です。 | 宮崎県 | 小学校 |
| 海事産業について教科書の記述量を増やす必要があると思う。 | 鹿児島県 | 中学校 |
| 3年生の公民分野 2年生の地理分野で資源の運搬量 輸送量 世界との結びつきを学習しています。国際貨物の海事産業のアピールが必要と思われます。 | 山口県 | 中学校 |

| ■見学会・体験学習の実施方法や課題について(5件) | | |
|---|------|-----|
| 体験活動実施の際の安全対策にむずかしさがある。(「海」ということで) | 福岡県 | 中学校 |
| 職場体験で受け入れていただける場合 生徒送迎が可能かどうか | 福岡県 | 中学校 |
| 学習内容に合わせ、検索できるようHPを広報してほしい。学校、個人、団体 等、活用の形が、いろいろと考えられるので、情報を発信くだされば、助かります。 | 宮崎県 | 小学校 |
| 社会科で扱うのであれば、社会科教諭がきちんと配置されていないと、次年度の教育課程に組み込んでいくのは難しい。 | 鹿児島県 | 中学校 |
| ・地域に主だった海事産業関連(造船業など)がないのではないだろうか。 ・漁協については、見学に行っている。 | 山口県 | 小学校 |
| ■見学会・体験学習の実施校の感想(5件) | | |
| 本校は極小規模校のため、貸切バスの手配をすると費用面で負担が大きいため、見学先が限定されてしまいます。H.20年度に、造船所の見学をさせていただいた際には、交通費を負担していただき、とても助かりました。実施の前年度に募集してもらえると、もっと活用できると思っています。 | 佐賀県 | 小学校 |
| 今年度9月10日に5年生がお世話になります。機会をつくっていただき感謝しております。 | 熊本県 | 小学校 |
| 今年、海事教育に当たり、すでに6月に1回目を終えました。子どもたちにとって多くのことを学ぶ機会となり、とても充実した1日を過ごしました。11月に2回目を予定しており、子どもと共に心待ちにしています。多くの学校で経験されるといいな、と思います。 | 熊本県 | 小学校 |
| 昨年は帆船見学は大変子供たちがよるこびました。山の方の学校なので貴重な体験をさせていただきました。 | 大分県 | 小学校 |
| 5月末に見学・体験させていただき、生徒、職員共に大変大きな感動を受けたようです。今後もぜひ、機会がありましたら参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。 | 鹿児島県 | 中学校 |
| ■海事産業やその見学会・体験学習の重要性に関する意見(3件) | | |
| 海事産業は、日本の生命線と認識しています。 | 福岡県 | 小学校 |
| よく私自身が知らないことが多いのですが、調べてみるとその大切さや重要性が分かってくると思います。 | 佐賀県 | 中学校 |
| 大事なことだと思います。ご活躍を期待しています。また子ども達にもたくさん興味・関心を持ってほしいと思います。 | 長崎県 | 小学校 |
| ■見学会・体験学習の見学内容について(2件) | | |
| 自動車の海上輸送の様子を見学できるとよい。 | 福岡県 | 小学校 |
| 別府港は今、整備が進んでおり、新しくなった設備・施設をぜひ見学してみたい。 | 大分県 | 小学校 |
| ■その他(4件) | | |
| 体験や見学を実施する場合、事前見学(教師)を実施している。夏休み等に、できるだけ足を運ぶようにしている。安全面、体験などの内容面、雨天の場合、食事場所の確保など配慮を要する事項を総合的に考え行き先を決めている。夏季休業中始めには、業者との打ち合わせを行うようにしている。 | 福岡県 | 小学校 |
| ・1年生国語の「いろいろなふね」などの学習でも単元導入で関心をもたせることができると思います。 ・5年生社会科運輸の学習では、本市の細島港を取り上げ具体的な事象より調べ学習が主体的にできる環境にあると感じています。指導者側の工夫が必要です。 | 宮崎県 | 小学校 |
| 準備されている体験のメニューをみると、発展的な学習をする場合だけかと思いました。どちらかというと進路学習やキャリア教育につながる内容かとも思いました。 | 宮崎県 | 中学校 |
| 具体的見学場所を知りたいです。 | 鹿児島県 | 中学校 |

III. 調査結果の総括

III. 調査結果の総括

1. アンケート調査結果のまとめ

ここでは、「II. 小中学校へのアンケート調査結果」をもとに、見学会・体験学習の実施状況・ニーズや、海事産業に関する見学会・体験学習への関心・実施意向等について、全体的な傾向と、小・中学校別の特徴を整理する。

(1) 見学会・体験学習の実施状況・ニーズについて

■実施状況・実施時期・見学計画立案時期

小学校では、全体の9割強が見学会・体験学習を行っており、実施時期は1学期（主に5・6月）もしくは2学期（主に10・11月）が多い。一方、中学校における見学会・体験学習の実施率は4割強にとどまり、半数以上の学校では実施されていない。実施時期は小学校と同様に、1学期（主に5・7月）もしくは2学期（主に10・11月）が多い。また、実施時期が年度により異なるか不定の学校は、全体の約1割となっている。

見学実施計画の立案時期については、小学校では実施する年度の年度始めが半数以上である。一方、中学校では実施する年度の年度始め、もしくは前年度中（主に1～3月）に実施する学校が多い。

■見学時間帯・移動手段・移動時間

見学会等の時間帯は、「一日」もしくは「午前中」の学校が多い。小学校では約半数が「午前中」である一方、中学校は約7割が「一日」であり、小学校に比べて中学校の方が、見学会の時間が長い傾向がみられる。

また、学校から見学先への移動手段は、小学校ではほとんどの学校でバス（貸し切りバス、スクールバス等）が利用されている。一方、中学校では貸し切りバスの利用は6割弱にとどまり、公共交通機関や徒歩のみのほか、自転車による移動もみられる。

このため、学校から見学先までの移動時間の許容範囲は、小学校では「1時間半以内」や「1時間半以上も可」の合計が6割以上であるのに対して、中学校では「1時間半以上も可」の割合は少なく、「30分以内」の割合が比較的多いなど、小学校に比べて見学先までの移動時間に係る制約が比較的大きいといえる。

■見学先を選ぶ際の情報源

見学先を選ぶ際の情報源は、小学校ではほとんどの学校で「これまでの見学先」を参考にしており、それ以外に「他校との情報交換」や「教科書・資料集」などを活用している。中学校では、「これまでの見学先」を参考にする割合は小学校に比べて低く、「他校との情報交換」や「行政・企業等からの案内」、「教育委員会・教育庁からの案内」などを活用し

ており、小学校に比べて新たな見学先を探すための取り組みがなされていることがうかがえる。

■実施する上での課題

見学会・体験学習を実施する上での課題については、小学校・中学校ともに「見学会等の実施にかかる費用負担」及び「現地まで、もしくは現地での移動手段の確保」が多い。加えて、小学校では「適度な移動時間で行ける受け入れ先」や「見学コースの組み立て」、中学校では「見学会等をカリキュラムに組み込む時間的な余裕」や「生徒・児童数を受け入れ可能な受け入れ先の確保」も比較的多くあげられている。

表 III-1 見学会・体験学習の実施状況・ニーズの整理

| | 全体の傾向 | 小学校の特徴 | 中学校の特徴 |
|--------------|--|---|---|
| ■実施状況・実施時期 | *実施率は約7割。 *実施時期は2学期(主に10・11月)、1学期(主に5・6月)が中心。年度により異なる・不定は約1割。 | *実施率は9割強と高い。 *実施時期は、2学期(主に10・11月)が最も多く、次いで1学期(主に5・6月)。 | *実施率は約4割、6割弱では実施せず。 *実施時期は、1学期(主に5・7月)、もしくは2学期(主に10・11月)が多い。 |
| ■見学実施計画の立案時期 | *実施する年度の年度始め(約5割)または前年度中(主に1～3月)(約3割)が中心。 | (全体と概ね同様) | *実施する年度の年度始め、もしくは前年度中(主に2月)が多い。 |
| ■時間帯 | *一日(6割強)か、午前中(約4割)が多い。 | *一日(約6割)のほか、午前中(約5割)も多い。 | *一日が多い(約7割)。 |
| ■移動手段 | *貸し切りバス(約8割)、公共交通機関(約3割)、徒歩のみ(2割強)など。 | *ほとんどの学校でバス(貸し切りバス、自治体所有のバス、スクールバス等)を使用。 | *貸し切りバスは6割弱で、公共交通機関や徒歩のほか、自転車等による移動もみられる。 |
| ■見学先を選ぶ際の情報源 | *これまでの見学先(約8割)、他校との情報交換(5割強)、行政・企業等からの案内(約4割)など。 | *ほとんどの学校で、これまでの見学先を参考にして いる。 *教科書・資料集が比較的多く使用されている。 | *これまでの見学先(約7割)のほか、教育委員会・教育庁からの案内(約4割)が比較的多い。 |
| ■移動時間の許容範囲 | *1時間以内(3割強)、1時間半以内(3割弱)、1時間半以上(2割弱)。 | (全体と概ね同様) | *1時間以内(4割弱)や30分以内(約2割)が比較的多く、移動手段との関連がみられる。 |
| ■実施する上での課題 | *見学会等の実施にかかる費用負担(約6割)、現地まで、もしくは現地での移動手段の確保(約5割)など。 | *適度な移動時間で行ける受け入れ先(約5割)、見学コースの組み立て(約3割)が比較的多い。 | *時間的な余裕がないこと(約5割)、生徒・児童数を受け入れ可能な受け入れ先(約4割弱)が比較的多い。 |

(2) 海事産業に関する見学会・体験学習について

■ 海事産業に関する見学会・体験学習への関心・実施意向

海事産業に関する見学会・体験学習の実施について、関心がある（「非常に関心がある」及び「ある程度関心がある」の合計）学校は、全体の約7割弱である。また、協議会がバス代や見学費用、見学メニュー等を提供した場合の実施意向（「ぜひ実施したい」及び「機会があれば実施したい」の合計）は、全体の7割強である。

小中学校別では、全般的に、中学校に比べて小学校の方が関心が高い傾向がみられる。また、海事産業に対する重要性の認識や、社会科等の教育の場で取り上げる機会が多いほど、海事産業に関する見学会・体験学習への関心や実施意向も高く、先生の意識・関心やカリキュラムが大きく影響しているといえる。

■ 参加してみたいメニュー

海事産業に関する見学会・体験学習のうち、参加してみたいメニューとしては、小学校・中学校ともに、旅客船見学・体験乗船や、造船所・進水式見学が多い。これらに加えて、小学校では貨物船（RORO 船・内航船）見学など、「船」に関するメニューが多くあげられており、小学生の興味・関心に合うメニューと捉えられている。一方、中学校では旅客船・遊覧船の職場体験や、マリーナ施設見学、マリーナ業務体験学習、海上技術学校の練習船の体験乗船、水産関係高等学校への体験入学など、単なる見学にとどまらない、体験的な学習が可能なメニューが多くあげられており、体験的要素が重視されていることがうかがえる。

■ 出前講座の必要性・実施時期

出前講座については、必要との意見（「必要だと思う」及び「見学会・体験学習のテーマ・内容によっては必要だと思う」の合計）が大半を占めており、学校からの実施ニーズは強いといえる。

出前講座の実施時期は、小学校では実施する約1ヶ月前（同じ学期中）や実施する学期の学期始めなど、見学会・体験学習に近い時期での実施希望が比較的多い。中学校では、実施する約1ヶ月前（同じ学期中）のほか、前年度中（主に8・11・1月）の希望も比較的多い。

表 111-2 海事産業に関する見学会・体験学習への関心やニーズの整理

| | 全体の傾向 | 小学校の特徴 | 中学校の特徴 |
|--------------------------|--|--|--|
| ■海事産業に関する見学会・体験学習の実施への関心 | <ul style="list-style-type: none"> * 関心のある学校が7割弱。 * 海事産業に対する重要性の認識や、社会科等で取り上げる機会が多いほど関心が高い。 | <ul style="list-style-type: none"> * 関心のある学校が7割強。 | <ul style="list-style-type: none"> * 関心のある学校は約6割。小学校に比べて、関心のない割合が高い(4割弱)。 |
| ■費用や見学メニュー等が提供された場合の実施意向 | <ul style="list-style-type: none"> * 7割強が積極的な実施意向。 * 前項の関心が高いほど、実施意向も高い。 | <ul style="list-style-type: none"> * 積極的な実施意向を示す学校が多い(9割弱)。 | <ul style="list-style-type: none"> * 6割強は積極的な実施意向だが、3割強は消極的。 |
| ■参加してみたいメニュー | <ul style="list-style-type: none"> * 参加意向の高いメニューは以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> － 旅客船見学・体験乗船(約6割) － 造船所・進水式見学(6割弱) | <ul style="list-style-type: none"> * 「船」に関するメニューへの参加意向が高い。 <ul style="list-style-type: none"> － 旅客船見学・体験乗船(約7割) － 造船所・進水式見学(約6割) － 貨物船(RORO 船・内航船)見学(5割弱) | <ul style="list-style-type: none"> * 体験的な学習が可能なメニューへの参加意向が高い。 <ul style="list-style-type: none"> － 旅客船・遊覧船の職場体験(約4割) － マリーナ施設見学、マリーナ業務体験学習(2割強) － 海上技術学校の練習船の体験乗船(約2割) － 水産関係高等学校への体験入学(約2割) |
| ■出前講座の必要性 | <ul style="list-style-type: none"> * 必要との意見が多い(約9割)。 | (全体と概ね同様) | |
| ■出前講座の実施時期 | <ul style="list-style-type: none"> * 実施する約1ヶ月前(同じ学期中)(2割強)、実施する年度の年度始め(2割弱)、前年度中(主に2・8月)(2割弱)など。 | <ul style="list-style-type: none"> * 実施する約1ヶ月前(3割弱)や、実施する学期の学期始め(2割弱)など、見学会・体験学習に近い時期での実施希望が比較的多い。 | <ul style="list-style-type: none"> * 実施する約1ヶ月前(約2割)のほか、前年度中(主に8・11・1月)(約2割)の実施希望も比較的多い。 |

2. 海事産業に関する見学会・体験学習の推進に向けて

九州海事産業次世代人材育成推進協議会では、現在、海事関係団体等の協力を得て見学会等のメニューを用意している。本調査では、これらのメニューが現状十分に活用されていないことをふまえ、今後、小・中学校における海事産業に関する見学会・体験学習を一層推進するために、見学会・体験学習の実態や課題、海事産業に関する意識・関心等について調査を行った。以下では、これまでの調査結果をふまえて、今後の海事産業に関する見学会・体験学習の推進に向けて有効と考えられる取り組みを提案する。

■教育機関等に対する事業のPR強化

本調査では、見学会・体験学習を実施する上での課題として、小学校・中学校ともに「見学会等の実施にかかる費用負担」及び「現地まで、もしくは現地での移動手段の確保」が最も多くあげられ、多くの学校に共通する課題であることが明らかとなった。協議会では、見学会等にかかるバス代等の費用を負担する事業を実施していることから、当該事業を広くPRすることによって、今後、海事産業に関する見学会・体験学習の実施に積極的な意向を示す学校が増える可能性が見込まれる。

また、見学計画の立案については、前年度中や実施する年度の年度始めに行っている学校が多いことから、学校側への働きかけを早い段階で一度行うことによって、次年度の見学計画を立案する際の検討候補として組み入れてもらえるなどの効果が期待される。

なお、学校側へ働きかけを行う際の方法については、行政・企業等や教育委員会・教育庁からの案内等を見学先の選定にあたって参考としている学校が一定割合存在することから、関係行政機関や教育委員会等を通じて小・中学校等へ案内を送付することや、県教育委員会主催による校長会等での事業趣旨説明等も有効と考えられる。また、その際、必要があれば出前講座も行っていることも、併せてPRすることで、学校側への働きかけの効果が高まることが期待される。

■学校側と見学先をつなぐコーディネーター機能の強化

前項の教育機関等へのPR強化を通じて、協議会が提供する見学会等に関心を示す学校を増やすとともに、教育機関等から協議会へ問い合わせがある際、見学会・体験学習に対する学校側の様々なニーズ（見学実施時期、見学メニュー、見学時間帯、見学費用、移動時間等）に対応する見学先・見学コース等を提案するなど、学校側と見学先との間をつなぐコーディネーター的な役割を強化することで、より効率的に、海事産業に関する見学会・体験学習の実現につなげることが可能と考えられる。そのため、協議会事務局には、各見学先について実施可能な時期や見学可能な時間帯、見学費用、受入規模等の情報を収集・整理し、学校側のニーズに合わせて必要な情報提供を行う機能の拡充が求められる。

このほか、九州運輸局が開設している『『海の子』育成プロジェクト』のウェブサイトでは、現在、「見学メニュー」ごとに受け入れ施設を検索することができるが、これに加えて「都道府県」、「見学時間帯」、「対象年齢」、「一回の受入可能人員」、「見学費用」などのカテゴリーからも受け入れ施設を検索できるようにするなど、コンテンツの充実・強化を図ることにより、教育関係者等にとってより使いやすいウェブサイトとなり、見学先の選定等に一層活用されることが期待される。

■海事産業の重要性に対する普及・啓発等の推進

また、海事産業に関する見学会・体験学習への関心や実施意向は、海事産業の重要性に対する理解や、社会科等の教育の場において海事産業を取り上げる機会など、先生の意識・関心や、カリキュラムに大きく影響されることが調査結果に現れている。

このため、協議会の活動において海事産業の重要性を広く普及・啓発する取り組みや、社会科等の教育の場において海事産業が取り上げられるための取り組み等を促進することが、今後の海事産業に関する見学会・体験学習の推進に向けた素地の形成につながるものと考えられる。

参考資料（アンケート調査票）

海事産業関連の見学会・体験学習に関する アンケート調査

—————<回答にあたってのお願い>—————

- 本アンケート調査は、九州海事産業次世代人材育成推進協議会が実施している「海の子育成プロジェクト」（主に小中学生を対象とした海事産業関連の体験学習）への参加促進を図るため、海事に関する関心度や、各校における見学会の実施ニーズ・課題等を把握することを目的としています。
- 本アンケート調査は、九州の各県及び山口県の小中学校を対象としています。
- ご回答いただいた内容につきましては、すべて統計的な処理を行った上で、本調査のみに活用させていただき、その他の用途には使用いたしません。
- 調査票には、あてはまる番号に○印をつけていただくものと、具体的な記述をお願いするものがあります。各設問の指示にしたがってご記入下さい。また、「その他」の選択肢に該当する場合は、かっこ内に具体的な内容をご記入下さい。
- ご記入いただいたアンケート調査票は、同封の返信用封筒（切手貼付済）を用いて、

平成22年7月31日（土）までに、

ご投函くださいますようお願い申し上げます。

Ⅰ. 社会科等における見学会・体験学習の実施状況・ニーズ等についておうかがいします。

問 1 貴校では、社会科等の教育の場で見学会・体験学習等を実施していますか。あてはまるものを一つだけ選び、○印をつけてください。

| | |
|------------------|-----------|
| 1. 実施している ……………▶ | 問 2～問 5 へ |
| 2. 実施していない……………▶ | 問 6 へ |

問 1 で「1. 実施している」と回答した方におうかがいします (以下、問 2～問 5)。

問 2 見学会等の実施時期はいつ頃ですか。あてはまるものをすべて選び、○印をつけてください。
また、具体的な時期 (○月頃など) が決まっている場合は、カッコ内にその時期をご記入ください。

| | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1. 1 学期 (具体的な時期: _____ 月頃) | 2. 2 学期 (具体的な時期: _____ 月頃) |
| 3. 3 学期 (具体的な時期: _____ 月頃) | 4. 年度により異なる・不定 |
| 5. その他 (具体的に: _____) |) |

問 3 見学実施計画の立案時期はいつ頃ですか。あてはまるものをすべて選び、○印をつけてください。
また、「1. 前年度中」に該当する場合は、カッコ内に具体的な時期をご記入ください。

| | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1. 前年度中 (具体的な時期: _____ 月頃) | 2. 実施する年度の年度初め |
| 3. 実施する学期の前学期中 | 4. 実施する学期の学期始め |
| 5. 実施する約 2～3 ヶ月前 (同じ学期中) | 6. 実施する約半月～1 ヶ月前 (同じ学期中) |
| 7. その他 (具体的に: _____) |) |

問 4 実施している見学会の時間帯はいつですか。あてはまるものをすべて選び、○印をつけてください。
また、カッコ内に具体的な時間をご記入ください。

| | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1. 午前中 (_____ 時 ～ _____ 時頃) | 2. 午後 (_____ 時 ～ _____ 時頃) |
| 3. 一日 (_____ 時 ～ _____ 時頃) | 4. その他 (具体的に: _____) |

問 5 貴校から見学先への移動手段は何ですか。あてはまるものをすべて選び、○印をつけてください。

| | |
|-----------|----------------------|
| 1. 徒歩のみ | 2. 公共交通機関 (電車、路線バス等) |
| 3. 貸し切りバス | 4. その他 (具体的に: _____) |

全員におうかがいします。

問 6 見学先を選ぶ際に参考とする情報源は何ですか。あてはまるものをすべて選び、○印をつけてください。

| | |
|----------------|----------------------|
| 1. これまでの見学先 | 2. 他校との情報交換 |
| 3. 教科書・資料集 | 4. 教育関連誌 |
| 5. インターネットを通じて | 6. 教育委員会・教育庁からの案内 |
| 7. 行政・企業等からの案内 | 8. その他 (具体的に: _____) |

問 7 見学先の選定にあたって、貴校から見学先までの移動時間 (バス使用を含む) の許容範囲について、あてはまるものを一つだけ選び、○印をつけてください。

| | | |
|----------------------|-----------|--------------|
| 1. 15分以内 | 2. 30分以内 | 3. 45分以内 |
| 4. 1時間以内 | 5. 1時間半以内 | 6. 1時間半以上でも可 |
| 7. その他 (具体的に: _____) |) | |

問 8 見学会・体験学習を実施する上での課題は何ですか。あてはまるものをすべて選び、○印をつけてください。

1. 現地まで、もしくは現地での移動手段の確保が難しい
2. 引率の人手の確保が難しい
3. 生徒・児童に対して安全対策を十分に行うことが難しい
4. 適切なテーマ・内容の受け入れ先を探すのが困難
5. 参加する生徒・児童数を受け入れ可能な受け入れ先を探すのが困難
6. 適度な移動時間で行ける受け入れ先を探すのが困難
7. 見学コースの組み立てが難しい
8. 見学会等の実施にかかる費用負担が大きい（バス代、保険代、見学費用など）
9. 見学会等の実施に伴う準備・手続の負担が大きい
10. 見学会等をカリキュラムに組み込む時間的な余裕がない
11. 見学会等の実施経験が少なく、どのように実施すればよいのかわからない
12. その他（具体的に： _____)

II. 海事産業に関する意識・関心等についておうかがいします。

問 9 海事産業（旅客船、内航海運、港湾運送、倉庫業、造船業、船用工業など）は、我が国の産業・国民生活等を維持する上で不可欠な役割を果たしています。こうした海事産業の重要性について、以前より認識していましたか。あてはまるものを一つだけ選び、○印をつけてください。

1. 十分認識していた
2. ある程度認識していた
3. あまり認識していなかった
4. 全く認識していなかった

問 10 貴校の社会科等の教育の場で、海事産業について取り上げることはありますか。あてはまるものを一つだけ選び、○印をつけてください。

1. よくある
 2. ときどきある
 3. ほとんどない
 4. 全くない
- 問 12 へ
- 問 11 へ

問 11 **問10で「3. ほとんどない」「4. 全くない」と回答した方におうかがいします。**

社会科等の教育の場で、海事産業について取り上げることが少ない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、○印をつけてください。

1. カリキュラムに組み込むには授業時間が足りないから
2. 社会科の教科書・資料集等であまり取り上げられていないから
3. 海事産業に関する教員の知識が十分でないから
4. 特に取り上げる必要性を感じないから
5. その他（具体的に： _____)

III. 海事産業に関する見学会・体験学習等についておうかがいします。

問 12 社会科等の教育の場で、海事産業に関する見学会・体験学習を実施することについて、関心はありますか。あてはまるものを一つだけ選び、○印をつけてください。

1. 非常に関心がある
2. ある程度関心がある
3. あまり関心はない
4. 全く関心はない

問 13 当協議会では、海事産業に関する見学会・体験学習（別添パンフレット参照）として、事業者・学校等の協力を得て以下のようなメニューを提供しています。貴校で参加してみたいと思うものをすべて選び、○印をつけてください。また、これ以外に参加してみたいメニュー・内容がありましたら、「12. その他」に具体的にご記入ください。

| | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 旅客船見学・体験乗船 | 2. 倉庫施設見学 |
| 3. 造船所・進水式見学 | 4. 船用工業見学 |
| 5. 貨物船（RORO船・内航船）見学 | 6. 港湾施設・荷役見学 |
| 7. 旅客船・遊覧船の職場体験 | 8. 海上技術学校の練習船への体験乗船 |
| 9. 水産関係高等学校の体験入学 | 10. マリーナ施設見学、マリーナ業務体験学習 |
| 11. 海事産業関連の施設見学バスツアー | |
| 12. その他（具体的に： _____） | |

注釈）船用工業…船舶の部品・装備品（エンジン、航海用機器、錨、プロペラ等）の製造工業

問 14 当協議会がバス代や見学費用、見学メニュー等を提供した場合、社会科等の教育の場で、海事産業関連の見学会・体験学習を実施したいと思いますか。あてはまるものを一つだけ選び、○印をつけてください。

| | |
|------------------|-----------------|
| 1. ぜひ実施したい | 2. 機会があれば実施したい |
| 3. あまり実施したいと思わない | 4. 全く実施したいと思わない |

問 15 当協議会では、見学会・体験学習を実施する前に、必要があれば引率の先生方に対する出前講座（海事産業の役割に関する説明等）を行っています。こうした先生方への出前講座は必要だと思いますか。あてはまるものを一つだけ選び、○印をつけてください。

| |
|-------------------------------|
| 1. 必要だと思う |
| 2. 見学会・体験学習のテーマ・内容によっては必要だと思う |
| 3. 必要ないと思う |

問 16 先生への出前講座を実施する場合、望ましい実施時期はいつ頃ですか。あてはまるものを一つだけ選び、○印をつけてください。

| | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1. 前年度中（具体的な時期： _____ 月頃） | 2. 実施する年度の年度始め |
| 3. 実施する学期の前学期中 | 4. 実施する学期の学期始め |
| 5. 実施する約1ヶ月前（同じ学期中） | 6. 実施する約半月前～1週間前程度（同じ学期中） |
| 7. その他（具体的に： _____） | |

問 17 海事産業関連の見学会・体験学習の実施について、ご意見・ご要望等がございましたら、以下にご自由にご記入ください。

IV. 最後にご記入者名などをご記入ください。

| | | | |
|------------|----------|-------|--------------------|
| 貴校名 | | 区分 | 1. 小学校 2. 中学校 |
| 役職 | | ご記入者名 | |
| 電話番号 | () | FAX番号 | () |
| E-mailアドレス | | | |

これで、アンケート調査は終わりです。ご協力いただき誠にありがとうございました。

海の子育成に係る実態等調査報告書

平成 23 年 3 月発行

発行人 田 中 浩 二
発行所 財団法人 九州運輸振興センター
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 3 丁目 10 番 17 号
TEL 092-451-0469 FAX 092-451-0474
<http://kyushu-transport.or.jp/>

印刷 株式会社 福田印刷



この報告書は競艇の交付金による日本財団の助成を受けて
作成しました